

ダビンチ 2.0 ユーザーズ ガイド

©1997-2001 WINCOMSOFT CO.,LTD

このユーザーズ ガイドの内容とダビンチ 2.0 プログラムは
著作権法によって保護されています。

2001 年 7 月 1 日初版発行

WINCOMSOFT CO.,LTD
&
Tama Software Ltd.

URL: <http://www.tamasoft.co.jp/davinci/>

E-Mail: davinci@tamasoft.co.jp



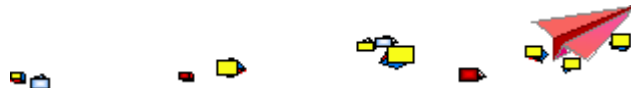
はじめに

ダビンチ 2.0 に付属するプログラム、資料ファイル、ユーザーズ ガイドなどは、著作権法によって保護されています。

ダビンチ 2.0 で提供されるすべてのイラスト、カットは、韓国 WINCOMSOFT CO., LTD が著作権を保有し、著作権法によって保護されています。無断で複製して商業目的に使用することはできません。

Davinci 2.0 は WINCOMSOFT CO., LTD の商標です。

このユーザーズ ガイドに記載されているすべての会社名と製品名は、各会社の登録商標または商標です。



凡例

このユーザーズ ガイドをお読みになると、ダビンチ 2.0 を初めて使う方でも簡単に操作を習得できます。ダビンチ 2.0 をインストールしたら、Readme.txt ファイルも参照してください。

このマニュアルの表記規約

使い方をスムーズに習得するために、このマニュアルで使用されるいくつかの基本的な表記規約を覚えてください。

キーボード上のキーは < > を使用して表記します。<Shift> はキーボード上の  キーを、<F1> は  キーを、<Delete> は  キーを意味します。

ソフトウェアに表示される文字、つまりメニュー、ダイアログ ボックス名、ダイアログ ボックス内に表示される各項目名などは、[]で囲んで表記します。

メニューやダイアログ ボックス内のボタンなど、クリックして選択する対象も[]で囲んで表記します。たとえば、ダイアログ ボックスによく出る[OK]ボタン、メニュー名の[ファイル]メニューなどです。

また、[ファイル]メニューをクリックして[印刷]項目を選択する操作を[ファイル]–[印刷]と表記する場合があります。

追加情報

ダビンチ 2.0 についての追加情報や、コンピュータに関する一般的な情報が次の方法で記載されています。



プログラムの使用中によくある疑問について説明します。



ベテランのコンピュータ ユーザーなら当たり前のように知っているようなことでも、初心者には難しい場合がよくあります。ここでは、初心者がつまづきがちな内容を説明します。初心者の方は、この項目をお読みになってください。



上級者向けの情報です。初心者の方には若干難しいかもしれません。



このマニュアルの構成

このマニュアルは、ダビンチ 2.0 に初めて接したユーザーを対象にして、このプログラムの使い方を説明します。各章で次の内容を扱います。

「第 1 章 インストールとアンインストール」では、ダビンチ 2.0 をコンピュータにインストールする方法とアンインストールする方法について説明します。

「第 2 章 ダビンチ 2.0 のはじめの一步」では、ダビンチ 2.0 の起動、ホーム画面と作業画面、プログラムの構成要素（メニュー バー、描画ツール、ステータス バー、カラーバーなど）、作業環境の設定方法、ヘルプの使い方など、このプログラムを使用するうえで必ず知る必要がある事柄について説明します。

「第 3 章 新規作成」では、ダビンチ 2.0 の新規作成画面で簡単な作業を行いながら、ダビンチ 2.0 の基本的な機能について学習します。たとえば、文字の入力、入力した文字の属性（フォント、サイズ、色など）の変更、簡単な図形の描画、オブジェクトの属性（模様、サイズ、色など）の変更、作成したファイルの保存、そして作業の後でダビンチ 2.0 のホーム画面に戻る方法を順に学習します。

「第 4 章 ファイルを読み込んで作業」では、ダビンチ 2.0 で保存された文書 (DVI) ファイルを読み込み、[型に合わせる]機能を使用して文字に特殊な効果を与え、オブジェクトのコピー、移動、グループ化、グループ解除、複製、プロパティのコピー、取り消しなどを実際に行います。

2 章と 3 章の内容は、ダビンチ 2.0 で最もよく使用される必須の機能ですから、必ず覚えてください。4 章で説明される各機能についても、十分に慣れるまで練習してみてください。

「第 5 章 カードとはがき」では、ダビンチ 2.0 に付属するカードとはがきのサンプルを読み込んで印刷し、テキストの編集、パノラマ機能、グラデーション機能などを練習します。

「第 6 章 名刺」では、ダビンチ 2.0 のテンプレート機能を利用して、名刺を作成します。BMP、JPG などのさまざまな画像ファイルを外部から読み込んで、各種の効果を与えます。

「第 7 章 カレンダー」では、ダビンチ 2.0 のカレンダー機能を使用してオリジナル カレンダーを作成します。テキストも入力します。

「第 8 章 レター」では、外部ファイルを読み込んで手紙の中に挿入し、オブジェクトを整列します。

「第 9 章 ポスター」では、ダビンチ 2.0 に付属するポスターのサンプルを読み込んで編集し、ポスターを完成します。[インポート]機能について復習し、連続曲線の描画、ノードの編集、イメージの縁取り、イメージによる塗りつぶしなどの機能を使用します。



「第 10 章 垂れ幕」では、ダビンチ 2.0 の分割印刷機能を使用しながら、[印刷]ダイアログ ボックスについて詳しく学習します。

「第 11 章 その他の機能」では、その他のメニューの使い方、アウトラインの抽出、各種のノード編集方法、オブジェクトの挿入、HTML 形式での保存、プレゼンテーション機能などが説明されます。

ダビンチ 2.0 の使用環境

オペレーティング システム	Windows 95/98/ME/NT/2000、およびその上位 OS
システムの最小仕様	486、メモリ 16MB 以上
システムの推奨仕様	Pentium 以上、メモリ 32MB 以上
その他の周辺装置	8 倍速以上の CD-ROM ドライブ

ダビンチ 2.0 の新機能

ダビンチ 2.0 では、ダビンチ 1.1 に比べて数多くの機能が追加されました。たとえば、次の機能が追加されています。

1. 複数ページ機能。複数のページを含む文書を 1 つのファイルに格納できます。
2. プレゼンテーション機能。複数のページを格納したダビンチ文書 (DVI ファイル) をプレゼンテーション機能で表示できます。
3. テンプレート機能。作成した 1 つの画像を複数並べて印刷する機能です。
4. MDI の採用。1 つのプログラムの中で複数のウィンドウを同時に開き、多くのファイルで作業できます。つまり、ある作業を完了しないままホーム画面に戻り、新しいファイルを開いても、以前に作業していたウィンドウは新しく開いたウィンドウの背後に残ります。



目次

はじめに.....	ii
凡例.....	iii
このマニュアルの表記規約.....	iii
追加情報.....	iii
このマニュアルの構成.....	iv
ダビンチ 2.0 の使用環境.....	v
ダビンチ 2.0 の新機能.....	v
目次.....	vi
第 1 章 インストールとアンインストール.....	1
1.1 ダビンチ 2.0 のインストール.....	1
1.2 ダビンチ 2.0 のアンインストール.....	6
第 2 章 ダビンチ 2.0 のはじめの一步.....	8
2.1 ダビンチ 2.0 の起動.....	8
2.2 ダビンチ 2.0 のホーム画面.....	8
2.3 ダビンチ 2.0 の概要.....	9
2.4 メニュー バー.....	10
2.5 描画ツール バー.....	12
2.6 ツール バー.....	16
2.7 ステータス バー.....	17
2.8 カラー バー.....	17
2.9 ページ設定ボタン.....	20
2.10 作業環境の設定.....	21
2.11 ヘルプの使用.....	22
第 3 章 新規作成.....	24
3.1 文字の入力.....	24
3.2 文字の色変更.....	26
3.3 簡単な図形(星)を描く.....	27
3.4 オブジェクトのサイズと形の変更.....	29
3.5 作成したファイルの保存.....	30



3.6	ダビンチ 2.0 のホーム画面に戻る	32
第 4 章	ファイルを読み込んで作業する	33
4.1	前に作業したファイルを読み込む	33
4.2	テキストをさらに加工	34
4.3	同じオブジェクトをもう 1 つ作成する	36
4.4	オブジェクトの移動	37
4.5	オブジェクトのグループ化	38
4.6	グループ化を解除	39
4.7	複製	40
4.8	元に戻す	40
4.9	プロパティのコピー	41
4.10	その他の効果	41
第 5 章	カードとはがき	44
5.1	カードのサンプル	44
5.2	カードの印刷	45
5.3	一覧からはがきを選択	46
5.4	テキストを入力	46
5.5	テキスト内容の編集	47
5.6	入力したテキストの書式の変更	48
5.7	入力したテキストを波打たせる	49
5.8	グラデーション	52
第 6 章	名刺	57
6.1	テンプレートを使った名刺の作成	57
6.2	名刺の背景	58
6.3	イメージ ツールの使用	60
6.4	イメージ ファイルのインポート	62
6.5	読み込んだイメージの編集	63
6.6	合成	66
6.7	テキスト入力と印刷	67
第 7 章	カレンダー	69
7.1	新しいカレンダー	69
7.2	テキストの入力	70



第 8 章 レター 72

 8.1 レターの作成 72

 8.2 イメージ ファイルの読み込みと挿入 73

 8.3 ガイド線 75

 8.4 グリッド 77

 8.5 封筒の作成 77

第 9 章 ポスター 80

 9.1 ポスターのサンプル 80

 9.2 イメージの切り抜き 81

第 10 章 垂れ幕 85

第 11 章 その他の機能 89

 11.1 その他のメニュー 89

 11.2 アウトラインの抽出 89

 11.3 アウトラインの表示 91

 11.4 ノードの編集 91

 11.5 新しい機能 98

 11.6 HTML ファイルで保存 99

 11.7 プレゼンテーション機能 102

 11.8 パレット 102

 11.9 α (アルファ)機能 102

最後に 103

索引 104



マウス ポインタ(マウス カーソル) 3

フォルダ(ディレクトリ) 5

メニュー項目の横に表示される「...」 12

メニュー項目の横に表示される「▶」 12

ダビンチ 2.0 でファイルを保存するパス 30

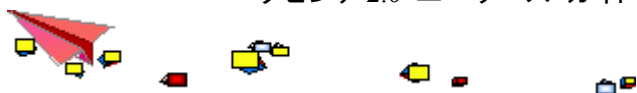
サンプル リストに追加 30



MDI 機能.....	32
クリップボード	37
グループ化と属性のグループ化	39
文字に[3D/陰影]の効果을適用	42
パノラマ	52
テンプレート	58
特定の文字だけフォントを変更するには	79
プリンタの余白指定	87



インストール プログラムの起動.....	2
実行中のプログラム.....	2
マウスのダブルクリック	18
テキスト ボックス ツールの使い方.....	26
ファイルに保存する理由.....	30
最近のファイル一覧を利用する	33
オブジェクトの選択.....	35
複製後の図形.....	37
2つのオブジェクトの分離.....	39
削除と切り取りの違い	47
連続曲線	50
[パノラマ]メニュー項目の選択.....	52
簡単なグラデーションの指定	53
テキスト オブジェクトだけを選択する.....	70
普通の写真をイメージ ファイルにする方法	74
複数オブジェクトの同時整列	77
イメージの切り抜き	83
直線を曲線に変換.....	97
OLE クライアント、OLE サーバー.....	98



アクセス キーとショートカットの使用	11
多角形ツールのユーザー定義機能	28
ショートカット メニュー	38
複数のオブジェクトを選択する別の方法	39
中心の位置	55
[イメージで塗りつぶす]と[イメージの縁取り]の違い	84



第 1 章 インストールとアンインストール

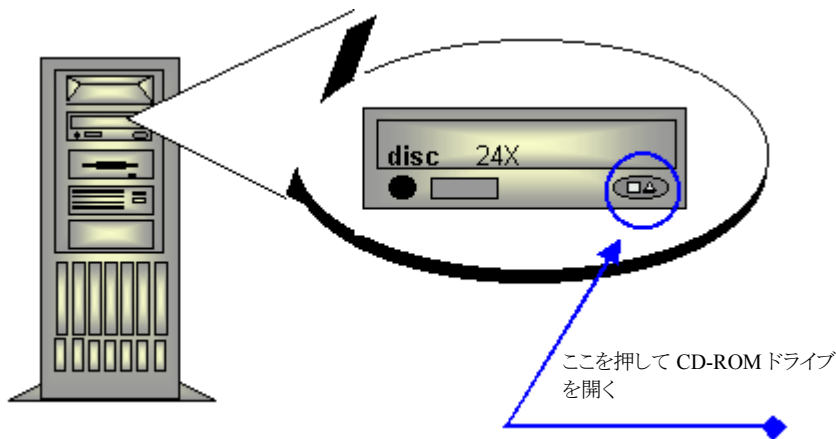
この章では、ダビンチ 2.0 プログラムを CD からコンピュータにインストールする方法と、インストールしたダビンチ 2.0 をコンピュータからアンインストールする方法について説明します。手順どおりにゆっくりと操作すれば、簡単にプログラムをインストールまたはアンインストールできます。


1.1 ダビンチ 2.0 のインストール



コンピュータのスイッチを入れます。

Windows が起動し、ホーム画面が表示されます。コンピュータ本体の CD-ROM ドライブの取り出しボタン  を押します。CD-ROM ドライブが開きます。



CD-ROM ドライブにダビンチ 2.0 の CD を入れ、ドライブの取り出しボタン  を押して、CD-ROM ドライブを閉じます。しばらくお待ちください。

ダビンチ 2.0 のインストール プログラムが自動的に起動して、次のような画面が表示されます。






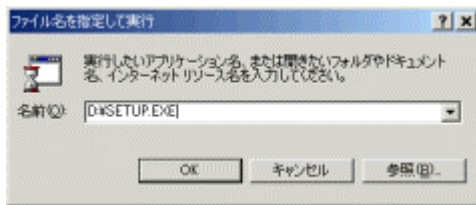
ウィザードがインストールを準備している間、しばらくお待ちください。待ち時間はシステムの性能によって異なります。



インストール プログラムの起動

ダビンチ 2.0 の CD を CD-ROM ドライブに入れた後、自動的にインストール プログラムが起動しない場合は、次の方法でインストール プログラムを起動します。

1. Windows のタスク バーにある  をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。次の [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. [名前] ボックスに「D:¥SETUP.EXE」と入力して [OK] をクリックします。なお、これが D: が CD-ROM ドライブの場合です。E: や F: などが CD-ROM ドライブに設定されている場合もあります。



ウィザードがインストールの準備を終えると、次の画面が表示されます。テキストを読んで、インストールを続ける場合は [次へ] をクリックします。インストールを中断する場合は [キャンセル] をクリックします。




ダビンチ 2.0 をインストールするときは、念のため、実行中の他のプログラムをすべて終了してください。




実行中のプログラム

実行中のプログラムは、画面下端の Windows タスク バーに表示されます。

たとえば、次の図のように、Windows の  ボタンの横のバーに現在実行中のプログラムが表示されます。



実行中のプログラムを終了しないと、ダビンチ 2.0 を安全にインストールできません。


矢印形のマウス ポインタ  を **ダビンチ** の横にあるプログラム表示バーに合わせ、マウスを右クリックします。次のようなメニューが表示されます。



メニューの[閉じる]をクリックして、プログラムを終了します。



マウス ポインタ(マウス カーソル)

マウスを動かすと、画面上で動くものがあります。これを「マウス ポインタ」と呼びます。通常は矢印の形  をしています。「マウス カーソル」とも呼ばれますが、厳密には、「カーソル」はテキストを入力する画面上の場所を指す言葉です。



[ユーザー情報]ダイアログ ボックスで、このプログラムを使うユーザーの名前と会社名を入力します。



名前と会社名が正しく入力されていることを確認します。内容が違う場合は修正してから、[次へ]をクリックします。



インストールするコンポーネントを指定するダイアログ ボックスが表示されます。コンポーネントを選択して、[次へ]をクリックします。



インストールするコンポーネントは、[標準]、[コンパクト]、[カスタム]の 3 つから選択できます。

ダイアログ ボックスが最初に表示されたときは、[標準]の左に が表示されます。これは、標準のインストールが選択されていることを意味します。

[コンパクト]または[カスタム]の方法でインストールする場合は、マウスでその項目をクリックして選択します。項目が選択されると、その左に が表示されます。

方法	インストール方法の特長	容量
標準	通常はこれをお勧めします。ダビンチ 2.0 のすべての内容がハードディスクにインストールされます。そのため、インストールした後で CD からデータを読み込むわずらわしさはありませんが、多くのスペースを必要とします。	300MB
コンパクト	ダビンチ 2.0 プログラムを実行するために最小限必要なファイルだけをハードディスクにインストールします。残りのデータは、必要ときにダビンチ 2.0 の CD から直接読み込みます。ハードディスクの空き容量が少ない場合に選択します。	20MB
カスタム	任意のコンポーネント(プログラム、サンプル、クリップアート、画像、フォント)を選択してインストールします。各コンポーネントについての知識が必要です。	選択によって異なる

また、このダイアログ ボックスの[インストール先ディレクトリ]項目には、ダビンチ 2.0 をインストールするディレクトリとして C:\Program Files\davinci20W が表示されています。



このディレクトリにダビンチ 2.0 をインストールする場合は、マウスで[次へ]をクリックします。特に理由がなければ、このディレクトリを使用してください。

他のディレクトリにインストールする場合は、[検索]をクリックしてインストール先ディレクトリを選択した後、[次へ]をクリックします。



フォルダ(ディレクトリ)

コンピュータを学習するとき、最も重要な概念の1つが「フォルダ」(ディレクトリ)です。

フォルダ構造は学級組織と似ています。たとえば、ダビンチ小学校2年6組に田中太郎君がいるとします。授業中の田中君を探すには、2年生の教室がある建物を探して、その中の6組の教室に行く必要があります。そうすれば、その部屋にいる田中君に会えますが、3年生の教室で田中君をいくら探しても見つかりません。

コンピュータに「田中太郎」君というファイルを保存する場合は、まず「ダビンチ」というフォルダを作成し、その中に「2年生」というフォルダ、さらにその中に「6組」というフォルダを作成し、その中に「田中太郎」というファイルを保存します。この「田中太郎」君を検索するには、まず「ダビンチ」フォルダの中の「2年生」フォルダを探し、さらにその中の「7組」フォルダを見つけて、その中で「田中太郎」ファイルを探す必要があります。



次のような[フォルダ選択]ダイアログボックスが表示されます。

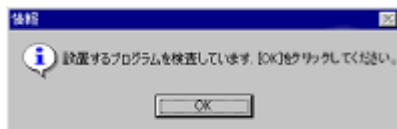


すでに[プログラム フォルダ]項目に「ダビンチ 2.0」という名前が入っています。これを受け入れると、Windows の **スタート** をクリックしたときに表示される[プログラム]フォルダの中に「ダビンチ 2.0」というフォルダが作成され、ダビンチ 2.0 が登録されます。[次へ]をクリックしてください。

「ダビンチ 2.0」以外の名前で登録するには、既存のフォルダ名を一覧から選択するか、新しいフォルダ名を入力して、[次へ]をクリックします。



これで選択は終了です。次の[情報]ダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックすると、ダビンチ 2.0 のインストールが開始され、次のようにインストールの進行状況が表示されます。



指定したフォルダにダビンチ 2.0 プログラムがインストールされ、次の画面が表示されます。



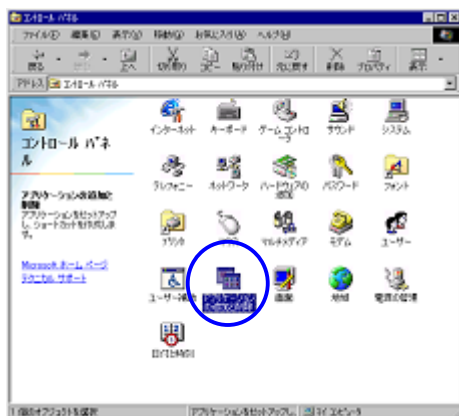
再びダビンチ 2.0 のインストール終了を示す[情報]ダイアログ ボックスが表示されます。

[OK]をクリックすると、ダビンチ 2.0 のインストールが完全に終了します。これで、ダビンチ 2.0 のプログラムを使用できるようになりました。

1.2 ダビンチ 2.0 のアンインストール



Windows の **スタート** をクリックし、[設定]—[コントロール パネル]をクリックします。次のような[コントロール パネル]フォルダのウィンドウが表示されます。



[コントロール パネル]の[アプリケーションの追加と削除]アイコンをマウスでクリックし、



次のダイアログ ボックスを表示します。



コンピュータからアンインストールできるプログラムの一覧が表示される




インストールされているプログラムの一覧から[ダビンチ 2.0]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。


画面に表示される指示に従って、ダビンチ 2.0 プログラムをアンインストールします。

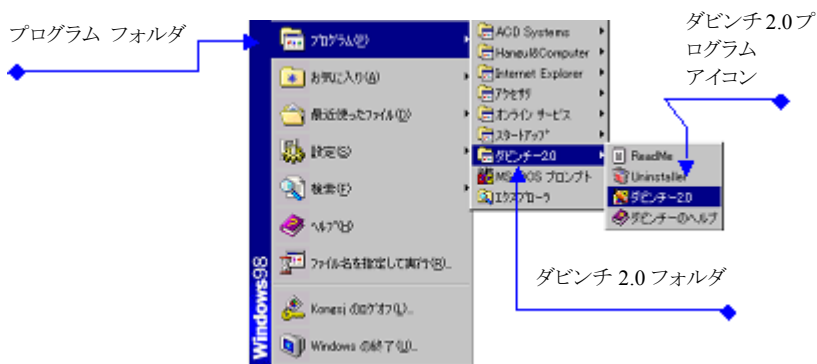


第 2 章 ダビンチ 2.0 のはじめの一步

2.1 ダビンチ 2.0 の起動



1 Windows の  をマウスでクリックします。

2 表示された[プログラム]フォルダ項目にマウス ポインタ  を合わせると、右側に多数のプログラム項目が表示されます。その中の[ダビンチ 2.0]フォルダにマウス ポインタを合わせると、ダビンチ 2.0 のアイコン群が表示されます。



3 [ダビンチ 2.0]アイコンをマウスでクリックすると、ダビンチ 2.0 のプログラムが起動します。

2.2 ダビンチ 2.0 のホーム画面

ダビンチ 2.0 が起動すると、次の画面が表示されます。マウスを動かして、それぞれの項目に矢印形のマウス ポインタ  を合わせると、マウス ポインタが指の形  に変わります。ここでマウスの左ボタンを一回クリックすると、その項目が開きます。



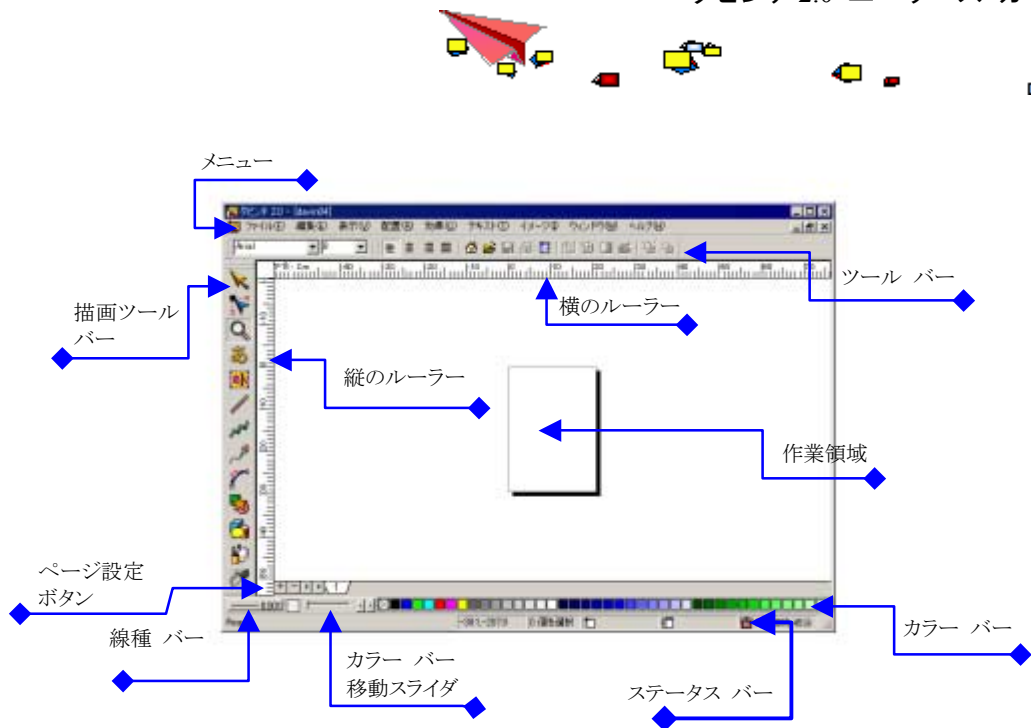


ダビンチ 2.0 のホーム画面には、9つのアイコンがメニューとして表示されます。各項目について簡単に説明します。

- 新規作成 : 空白の作業ウィンドウが表示されます。新しい画像を作成できます。
- 開く : ダビンチ 2.0 で作成して保存したダビンチ文書 (DVI) ファイルを読み込んで、編集または印刷します。
- カード/はがき : ダビンチ 2.0 に付属するカード/はがきのサンプルを読み込みます。好みに合わせて編集し、オリジナルのカードやはがきを作成できます。
- ポスター : ダビンチ 2.0 に付属するポスターのサンプルを読み込みます。オリジナル ポスターを作成できます。
- 垂れ幕 : ダビンチ 2.0 に付属する各分野の垂れ幕/のぼりのサンプルを読み込み、編集したり印刷できます。
- カレンダー : ダビンチ 2.0 に付属するカレンダーのサンプルを読み込みます。記念日を記録したり、カレンダーの形式を変更して、オリジナル カレンダーを作成できます。
- レター : ダビンチ 2.0 に付属するレターのサンプルを読み込みます。印刷すれば便箋や封筒を作成できます。ファイルを編集して、オリジナルの便箋や封筒を作成することもできます。
- 名刺 : ダビンチ 2.0 に付属する名刺のサンプルを読み込みます。好みに合わせて編集し、オリジナルの名刺を作成できます。テンプレート機能も利用できます。
- その他 : ラベル、額縁、塗り絵、掲示板、折り紙など、さまざまなサンプルがあります。

2.3 ダビンチ 2.0 の概要

ダビンチ 2.0 のホーム画面で[新規作成]にマウス ポインタを合わせ、マウスの左ボタンをクリックします。次の画面が表示されます。



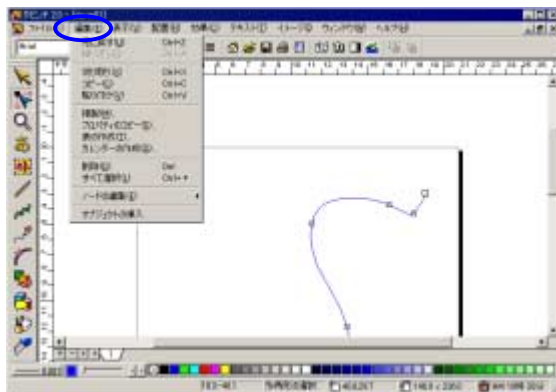
2.4 メニュー バー

メニュー バーには、作業で使用する各種の機能が並んでいます。



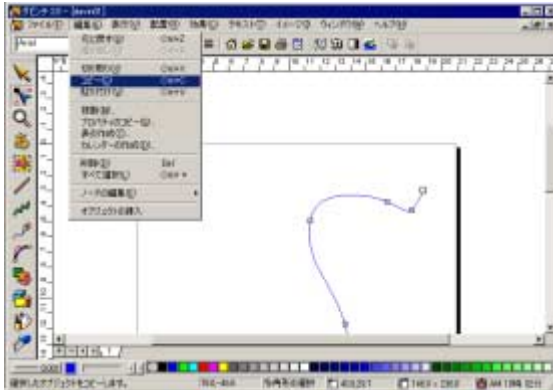
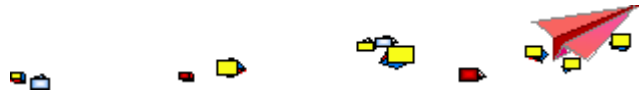
マウス ポインタを各メニューの上に合わせると、そのメニューが浮き出ます。ここでマウスの左ボタンをクリックすると、そのメニューの項目群が表示されます。

たとえば、[編集]メニューにマウス ポインタを合わせ、マウスの左ボタンをクリックすると、次のようなメニュー項目の一覧が表示されます。



表示された項目から、使用する機能を選択してマウスでクリックすると、その機能が実行されます。たとえば[コピー]を実行するには、次の画面のようにマウスで[コピー]をクリックします。

ただし、あらかじめ作業領域でコピーするオブジェクトを選択しておく必要があります。



アクセス キーとショートカットの使用

メニューを見ると、それぞれの横に英文字が表示されています。たとえば、[編集]メニューには (E) が付いています。この場合、マウスを使用しなくても、キーボードで <Alt> キーを押しながら <E> キーを押すと、[編集]メニューが選択されます。

[編集]メニューの各項目の横にも英文字が表示されています。たとえば、[コピー]の横には (C) があります。この場合、[編集]メニューが選択された状態でキーボードの <C> キーを押すと、[コピー]が実行されます。

[コピー]メニュー項目の横には、「Ctrl+C」も表示されています。これは、好きなときにキーボードで <Ctrl> キーを押しながら <C> キーを押すことにより、[編集] - [コピー]操作を実行できることを意味します。これはショートカットと呼ばれます。

よく使用する機能については、ショートカットを覚えておくと便利です。[編集]メニューの項目に対してよく利用されるショートカットを紹介します。

元に戻す	Ctrl+Z	直前に実行した命令を取り消します。
繰り返し	Ctrl+A	取り消した命令を再び実行します。
切り取り	Ctrl+X	選択したオブジェクトを切り取って、クリップボードに保存します。
コピー	Ctrl+C	選択したオブジェクトをコピーして、クリップボードに保存します。
貼り付け	Ctrl+V	クリップボードの内容を作業領域に貼り付けます。



メニュー項目の横に表示される「...」

[編集]メニューの[複製(M)...]や[プロパティのコピー(S)...]を見ると、3つの点が並んでいます。これは、この項目を選択してもすぐには作業が実行されず、条件を入力するためのダイアログボックスが表示されることを意味します。

[編集]メニューの[複製(M)...]を選択すると、右のようなダイアログボックスが表示されます。





このダイアログ ボックスで項目を選択し、[OK]ボタンをクリックすると、初めて[複製]が実行されます。



メニュー項目の横に表示される「▶」

[編集]メニューの[ノードの編集]項目の横には、ショートカットではなく、▶印が表示されます。これは、この項目の下に複数の選択肢があることを意味します。

[編集]メニューの[ノードの編集]をマウスで選択すると、[ノードの挿入]、[ノードの削除]など、さまざまなノード編集操作が右横に表示されます。



2.5 描画ツール バー

プログラム ウィンドウの左側にある描画ツール バーを使用して、さまざまな図形を描画します。以下では、各ツール機能を簡単に説明します。詳しい使い方については、次の章でサンプルを利用しながら説明します。



選択

オブジェクトを選択します。作業するための準備段階です。描画ツール バーの一番上にある[選択]ツールをマウスでクリックし、作業領域でいずれかのオブジェクトをクリックします。ショートカットは <Ctrl+I> です。

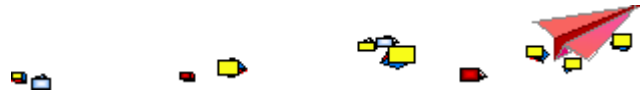


ノードの編集

線オブジェクトをマウスで選択し、[ノードの編集]アイコンをクリックすると、次のような[ノード編集ツール]が表示されます。ここでは、各ノードをマウスで選択して編集できます。



各ツールにマウス ポインタを合わせると、その機能の説明がポップアップ表示されます。左から、ノードの挿入、ノードの削除、ノードの分割、ノードの連結、水平整列、垂直整列、直線化、曲線化、単一直線化、単一曲線化、単一直線化、単一直線化のツールが並んでいます。ショートカットは <Ctrl+2> です。



ズーム イン/ズーム アウト

作業画面を拡大または縮小します。このツールを選択すると、マウス ポインタが虫眼鏡の形に変わります。この状態でマウスの左または右ボタンをクリックすると、作業画面がズーム インまたはズーム アウトされます。細かい作業を行う場合は、作業画面をズーム インすると便利です。

ズーム インするときは、虫眼鏡のある場所が新しい画面の中央になります。細かい作業を行う箇所に虫眼鏡を合わせ、マウスの左ボタンをクリックすると、その部分が画面の中央に拡大表示されます。ショートカットは <Ctrl+3> です。

テキスト

このツールを選択し、作業画面のいずれかの位置でマウスの左ボタンをクリックすると、カーソルが表示されます。入力する文字のフォントやサイズをあらかじめツール バーで指定することもできます。ツール バーで文字のフォントとサイズを指定する方法については、24ページの「3.1 文字の入力」を参照してください。ショートカットは <Ctrl+4> です。

テキスト ボックス

このツールを選択し、マウスの左ボタンを押しながらドラッグして四角形の範囲を指定すると、その内側にテキストを入力できます。テキスト ボックス内に入力したテキストは、自動的に折り返されます。テキスト ボックスのサイズを変更しても、フォント サイズは変わりません。1つのテキスト ボックス内のすべての文字は、同じ書式とサイズを持ちます。ショートカットは <Ctrl+5> です。

線

始点と終点を指定して直線を作成します。ショートカットは <Ctrl+6> です。

連結線

マウスの左ボタンをクリックして各点を指定し、それらを連結する線を作成します。連結線を終えるには、マウスの右ボタンをクリックします。ショートカットは <Ctrl+7> です。

自由曲線

このツールを選択し、マウスの左ボタンを押しながら作業ウィンドウ上をドラッグすると、マウス ポインタが通過した場所に自由曲線が描かれます。ショートカットは <Ctrl+8> です。

連続曲線

曲線を作成します。マウスの左ボタンを最初にクリックした場所が曲線の始点になり、次にクリックした場所が曲線の終点になります。続いてマウスの左ボタンをクリックすると、それらの位置に基づいて、最適化された曲線が描かれます。これを繰り返すことにより、連続した曲線を自由に描画できます。ショートカットは <Ctrl+9> です。

多角形

三角形、四角形、五角形など、さまざまな多角形を描画します。星形も用意されています。[多角形]ツール アイコンをマウスでクリックすると、次のツールが表示



されます。目的の形状をマウスで選択し、作業領域までドラッグします。ショートカットは <Ctrl+0> です。



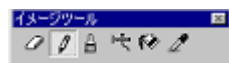
その他の多角形

[多角形]にはないさまざまな多角形を描画します。このツールをクリックすると、次のツールが表示されます。目的の形状をマウスで選択し、作業領域までドラッグします。



イメージ

画像ファイル(ビットマップ画像)の色の変換、消去、塗りつぶしなどに使用します。このツールをクリックすると、次の[イメージ ツール]が表示されます。鉛筆、ブラシ、スプレーなどのツールがあります。






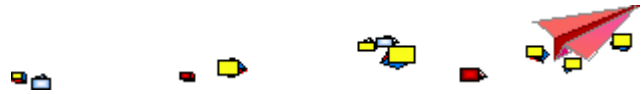
分割

図形を選択してこのツールをクリックすると、図形を切り分けられます。図形の上をマウスでドラッグして切り分けます。

分割しても図形が切断されていないように見えますが、[配置]メニューの[属性のグループ解除]を実行すると、分割の結果を確認できます。

ダビンチ 2.0 の各ツールを選択すると、選択したツールに応じて、マウス ポインタの形がさまざまに変化します。各種のマウス ポインタの意味を次に示します。

-  : テキスト ボックスや図形など、さまざまなオブジェクトを選択します。選択されたオブジェクトの周囲には 8 つの選択点が表示され、選択されたことを示します。
-  : 現在マウス ポインタが指している項目を選択し、実行できることを示します。マウスの左ボタンをクリックすると、現在マウス ポインタが指している項目がただちに実行されます。
-  : 選択されたオブジェクトのサイズを縦方向に調節できます。マウスの左ボタンを押しながら上下に動かすと、オブジェクトの垂直サイズが拡大または縮小します。



- ☞ : 選択されたオブジェクトのサイズを横方向に調節できます。マウスの左ボタンを押しながら左右に動かすと、オブジェクトの水平サイズが拡大または縮小します。
- ☞ : 同じ縦横比を維持したまま、選択されたオブジェクトのサイズを拡大または縮小できます。
- ☞ : 選択したオブジェクトの位置を移動できます。マウスの左ボタンを押しながらドラッグすると、選択したオブジェクトが移動します。
- ✚ : 円、四角形、多角形、直線などを描画します。描画する位置で、マウスの左ボタンを押しながらドラッグします。
- ☞ : 自由曲線を描画します。マウスの左ボタンをクリックして、自由にドラッグします。
- ☞ : 選択したオブジェクトを回転できます。マウスの左ボタンをクリックしてドラッグすると、選択したオブジェクトが回転します。
- ☞ : 選択したオブジェクトを左右に傾けます。マウスの左ボタンをクリックして左右にドラッグすると、オブジェクトが傾斜します。最後にマウスの左ボタンを離します。
- ▶ : ノード編集ツールを使用して直線、曲線などを修正するときに表示されます。線を構成する各ノードをマウスの左ボタンでクリックすると、そのノードは黒く変化します。ここでノード編集ツールを使用して作業します。テキストを選択した場合は文字単位で移動でき、サイズと色を変更できます。
- 🔍 : 作業をやすくするために、作業ウィンドウにある文書をズーム インまたはズーム アウトします。マウスの左ボタンをクリックすると、マウス ポインタの位置を中心にズーム インし、マウスの右ボタンをクリックすると、ズーム アウトします。
- 🔍 : 作業ウィンドウにある文書をズーム インまたはズーム アウトできないことを示します。ズーム イン可能領域(作業ウィンドウ + 移動可能領域)を外れた場所にマウス ポインタがある場合、文書をズーム イン/ズーム アウトすることはできません。
- ☞ : 分割ツールが選択されていることを示します。マウスの左ボタンを押しながらドラッグして、選択した図形を切ります。



2.6 ツール バー

メニュー バーの下にあるツール バーには、よく使うメニュー項目がアイコンやポップアップ リストボックスとして並んでいます。



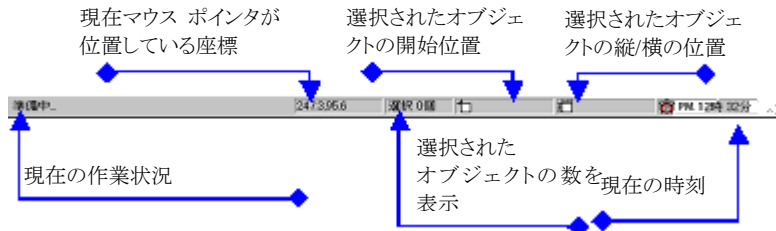
ポップアップ リストボックスの右側の下向き矢印(▼)をクリックすると、選択できる項目が一覧表示されます。そのいずれかをマウスでクリックして選択します。アイコンをクリックすると、その機能がただちに実行されます。ツール バーの各アイコンの意味は次のとおりです。

-  : 作業を中止してダビンチ 2.0 ホーム画面に戻ります。メニューの[ファイル]－[ホーム]と同じです。
-  : [開く]ダイアログ ボックスを表示します。メニューの[ファイル]－[開く]と同じです。
-  : 作業したファイルを DVI ファイルに保存します。メニューの[ファイル]－[保存]と同じです。
-  : 作業したファイルをプリンタで印刷します。メニューの[ファイル]－[印刷]と同じです。
-  : 作業中のファイルを全画面に表示します。メニューの[表示]－[全画面表示]と同じです。
-  : 選択した文字オブジェクトをさまざまな形に装飾します。メニューの[効果]－[型に合わせる]と同じです。
-  : 選択した文字オブジェクトに 3D 属性を指定します。メニューの[効果]－[3D/陰影]と同じです。
-  : 選択したオブジェクトの内部を特定の画像や模様で塗りつぶします。メニューの[効果]－[イメージで塗りつぶす]と同じです。
-  : 選択した複数のオブジェクトを 1 つのオブジェクトにグループ化します。[配置]メニューの[グループ化]と同じです。
-  : グループ化した複数のオブジェクトを再び分離します。[配置]メニューの[グループ解除]と同じです。



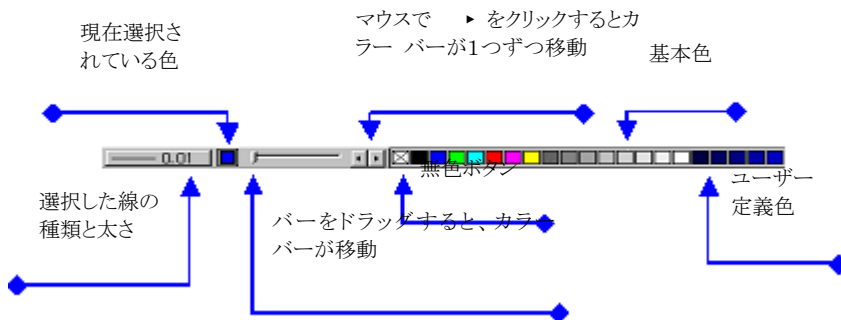
2.7 ステータス バー

ステータス バーには、現在マウス ポインタが位置している座標、作業ウィンドウで選択されているオブジェクトの数、現在の時刻など、いくつかの作業状況が表示されます。



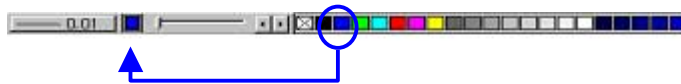
2.8 カラー バー

オブジェクトを選択して、カラー バーの色をマウスでクリックすることにより、選択したオブジェクトの色を変更できます。



基本色

15 種類の基本色があります。任意の色をマウスでクリックすると、選択した色に変わります。



ユーザー定義色

基本色の右にある 16 個のボックスは、ユーザー定義色の領域です。ユーザーが任意の色を指定できます。




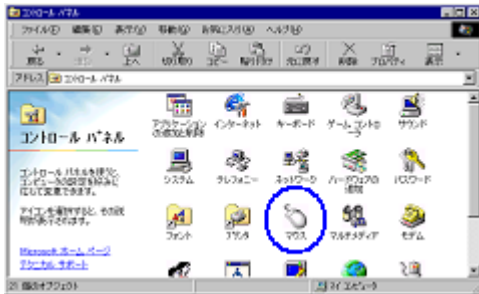
カラー バーの各ボックスをマウスですばやく 2 回クリック (ダブルクリック) すると、[色] ダイアログ ボックスが表示されます。



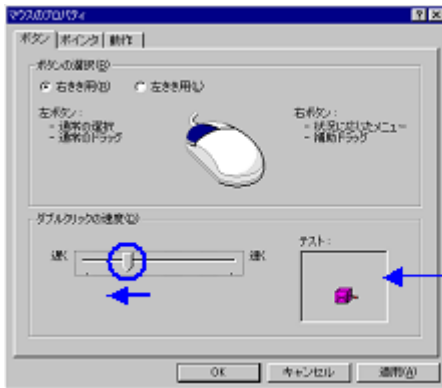
マウスのダブルクリック

マウスの左ボタンを 2 回クリックしても何の変化も起こらない場合は、クリック間隔が長すぎた可能性があります。マウスの左ボタンを連続してすばやくクリックしてください。これをダブルクリックと呼びます。うまくできるようになるまで繰り返し練習してください。

何回やってもダブルクリックできないときは、Windows の  ボタンをクリックし、[設定] - [コントロール パネル]を選択してください。



[マウス]アイコンを 1 回クリックして選択し、キーボードの <Enter> キーを押します。次の[マウスのプロパティ]ダイアログ ボックスが表示されます。



ダブルクリックが成功すると人形が飛び出す

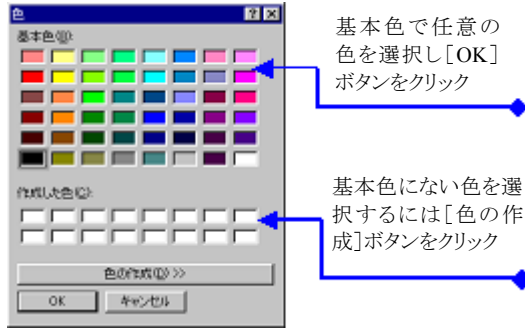
[ダブルクリックの速度]ボックスのバーを[遅く]の方にドラッグします。

[テスト]にあるボックスを続けて 2 回クリック(ダブルクリック)してみます。ダブルクリックが成功すると、ボックスから人形が飛び出します。

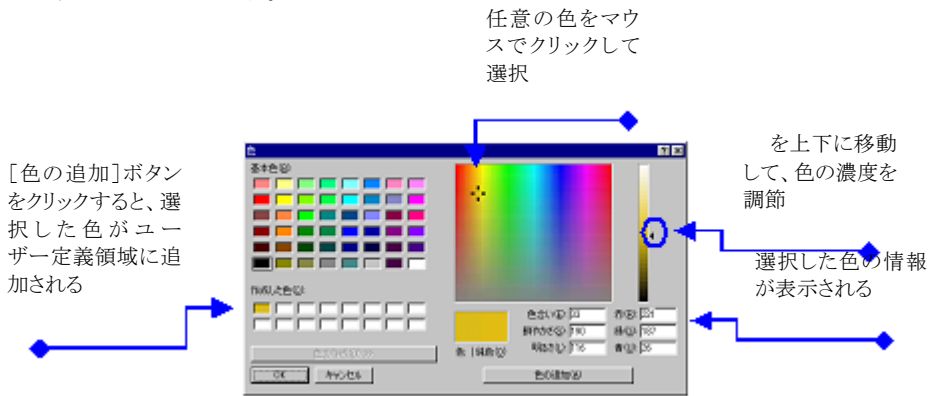
ダブルクリックがうまくできず人形が出てこない場合は、再び[テスト]で調節します。ダブルクリックに成功したら、[OK]をクリックします。これで、ダブルクリックがうまくできるはずです。



色を選択するための[色]ダイアログ ボックスが表示されます。



基本色に適切な色がない場合は、[色の作成]をクリックします。次のようにダイアログボックスが右側に拡張されます。

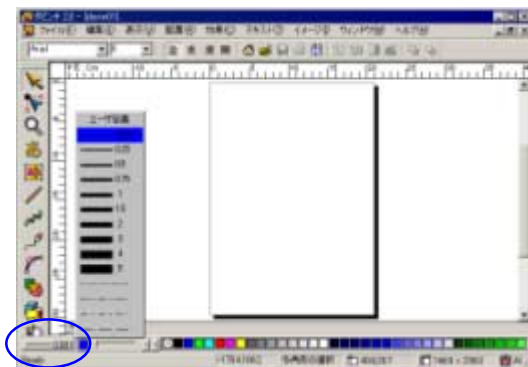


任意の色を選択し、[色の追加]をクリックして[OK]をクリックすると、色の変化を確認できます。

線種

カラーバーの左端には、線種が表示されます。

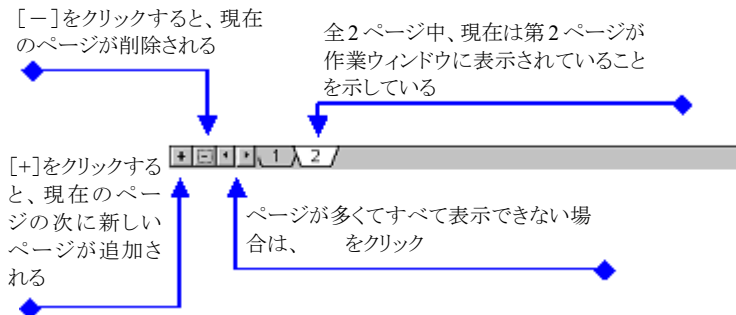
線種をマウスでクリックすると、さまざまな太さと種類の線が表示されます。この中から線を選択できます。





2.9 ページ設定ボタン

それぞれの子ウィンドウには、ページ設定ボタンがあります。このボタンを使用すると、複数のページを持つファイルを作成できます。各ページを表す番号をクリックすると、そのページが表示されます。



2.10 作業環境の設定

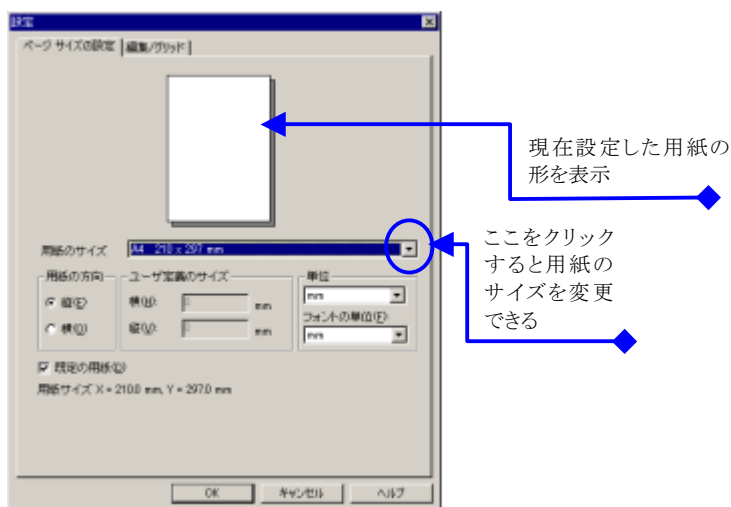
ダビンチ 2.0 で作業するための環境を設定します。[設定]ダイアログ ボックスには、[ページ サイズの設定]と[編集/グリッド]の2種類の領域があり、それぞれタブに表示されます。各タブをマウスでクリックすると、表示が変化します。



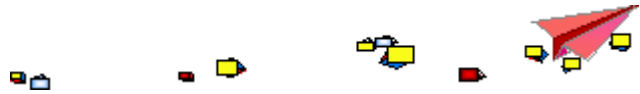
[ファイル]メニューの[設定]を選択します。[設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

ページ サイズの設定

[ページ サイズの設定]では、用紙のサイズと方向を決定します。用紙のサイズは、プリンタで印刷する用紙のサイズとは関係がなく、実際の画像のサイズを決定します。



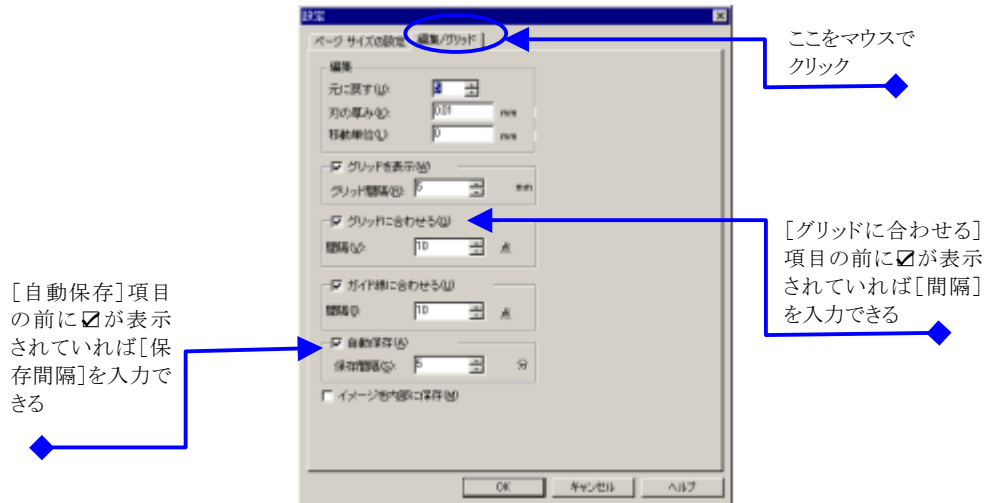
[用紙のサイズ]で選択したテンプレートによっては、用紙より小さな画像が作成され、1枚の用紙に同じ画像を複数印刷できます。たとえば、名刺を作成する場合、1つの



名刺を作成して、1枚の印刷用紙に複数の名刺を印刷できます。テンプレートの詳細については、57ページの「第6章 名刺」を参照してください。

編集/グリッド

[編集/グリッド]タブをマウスでクリックすると、次の[編集/グリッド]画面が表示されます。



[元に戻す]項目は、編集中何回までキャンセルできるかを決定します。ダビンチ 2.0 では、99 回までのキャンセル回数を指定できます。

[刃の厚み]項目は、オブジェクトを切るときに、切れてなくなる部分の厚みを設定します。詳細については、41ページの「4.10 その他の効果」を参照してください。

[グリッド表示]は、作業領域にグリッド状のガイド線を表示するかどうかを決定します。表示する場合は をマウスでクリックして に変更します。

[グリッドに合わせる]は、作業対象のオブジェクトをグリッドに合わせて整列するかどうかを決定します。グリッド間隔は、点(ピクセル)単位で指定します。

作業領域の左と上に表示される目盛線(ルーラー)をマウスでクリックすると、作業領域に仮のガイド線が作成されます。

[ガイド線に合わせる]を選択すると、移動したオブジェクトがこのガイド線を基準に整列されます。ガイド線も点(ピクセル)単位で指定します。

[自動保存]を選択すると、一定の間隔でファイルが自動的に保存されます。自動保存されたファイルは、作業中のダビンチ 2.0 ファイル(DVI ファイル)と区別できるように、.dsv ファイルとして保存されます。自動保存された.dsv ファイルを開くには、[ファイル]—[インポート]を使用してください。

[イメージを内部に保存]を選択すると、外部から読み込んで作業したファイルがダビンチ 2.0 ファイル(DVI ファイル)の中に保存されます。



2.11 ヘルプの使用

ダビンチ 2.0 には、詳しいヘルプが付属しています。わからないことがある場合は、このヘルプ機能を活用してください。

いつでもキーボードの <F1> キーを押すことにより、ヘルプを表示できます。

ヘルプには、現在の作業状況に合わせて適切な内容が表示されます。

たとえば、[テキスト]メニューの[クリップアート]を選択し、[クリップアート]ダイアログボックスを表示した状態で <F1> キーを押すと、次のようなヘルプが表示されます。








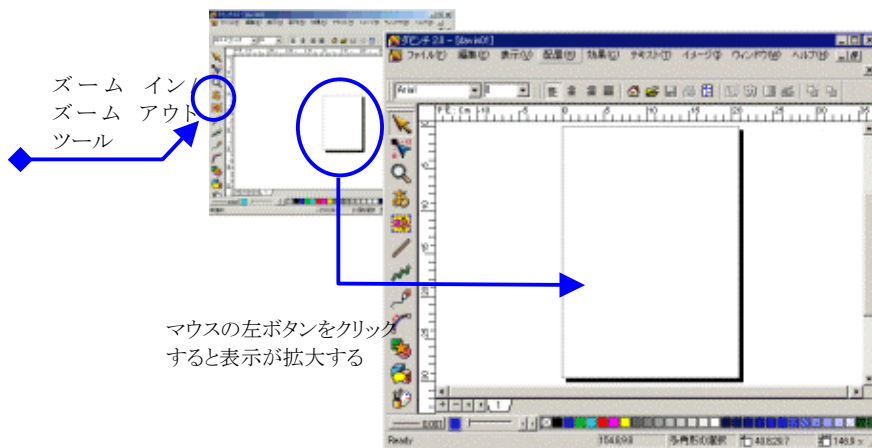
第3章 新規作成


ダビンチ 2.0 で基本的な作業を行います。[新規作成]メニューを選択して簡単なテキストと図を描き、印刷、保存してみましょう。

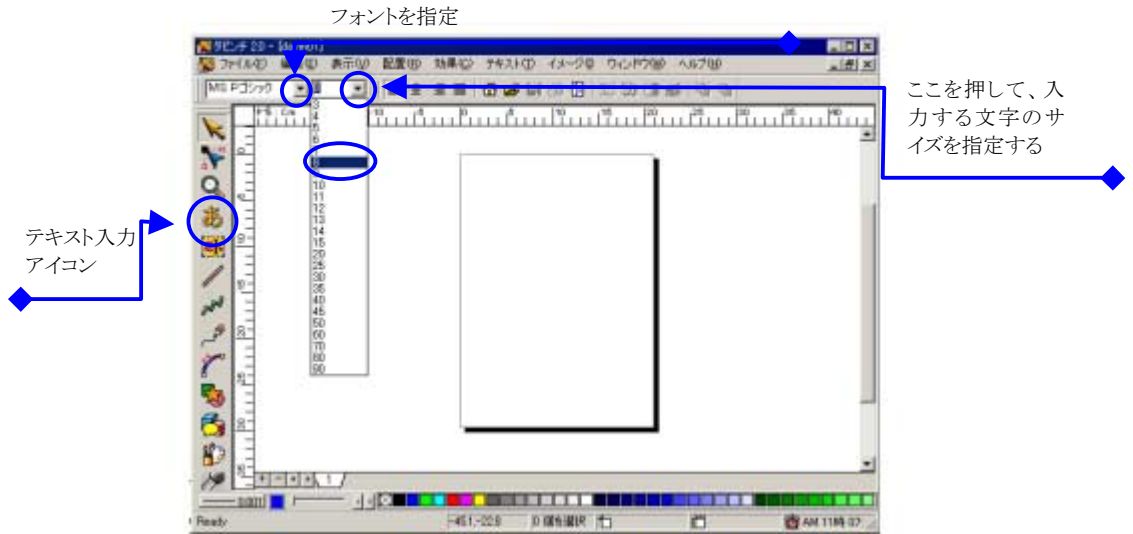


3.1 文字の入力

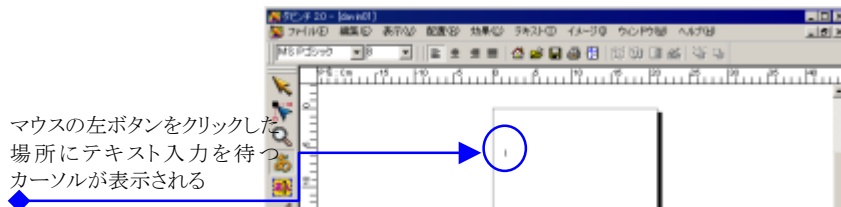
- 1 前の章と同じようにダビンチ 2.0 を起動して、[新規作成]メニューをマウスでクリックすると、新しい作業ウィンドウが表示されます。
- 2 ズーム イン/ズーム アウト アイコン  をクリックして選択すると、矢印形  のマウス ポインタが虫眼鏡  の形に変わります。作業領域上でマウスの左ボタンを1回クリックしてください。作業領域が拡大します。



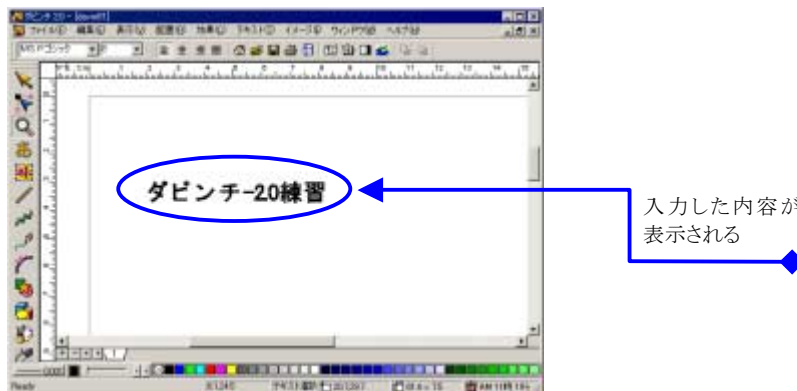
簡単な文字を入力してみます。左側の描画ツールバーのテキスト入力ツール  をクリックして選択し、ツールボックスでフォントと文字のサイズを設定します。次の図では、フォントをMS Pゴシックに、サイズを8ポイントに設定しています。




- 3** 作業領域で、文字を入力する場所をマウスでクリックします。次のように、入力を待つカーソルが表示されます。



- 4** キーボードから「ダビンチ-2.0 練習」と入力してください。次のように、入力した内容が画面に現れます。



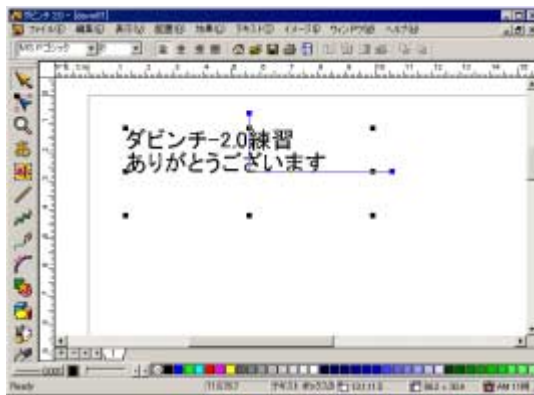
テキスト入力ツールの代わりにテキスト ボックス ツール  を選択してテキストを入力することもできます。



テキスト ボックス ツールの使い方


テキスト ボックスのツールを選択してマウスの左ボタンを押しながらドラッグし、四角形の範囲を指定すると、その中にテキストを入力できます。テキスト ボックスの中に入力したテキストは、ボックスの枠に合わせて自動的に折り返されます。テキスト ボックスのサイズを変更しても、文字の大きさは変わりません。テキスト ボックス内のすべての文字は、同じフォントとサイズになります。テキスト ボックスに対して、[3D/陰影]、[縁取り線効果]、[パノラマ]、[グラデーション]、[イメージで塗りつぶす]機能は適用できません。テキスト ボックスで入力したテキストに効果を与えるには、[配置]メニューの[テキスト ボックス]—[テキスト]を選択し、テキスト入力ツールを使用します。

テキスト入力ツールとテキスト ボックス ツールは、その性質が異なります。この 2 つのツールを適切に使い分けると便利です。



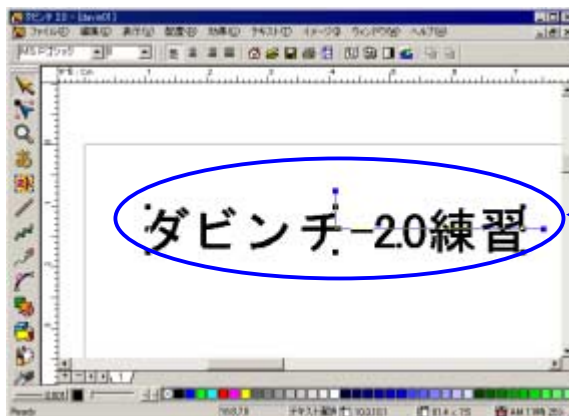
3.2 文字の色変更

1

作業ウィンドウの左側にある選択アイコン  をマウスでクリックして選択します。

2

「ダビンチ-2.0練習」と入力した文字の上をマウスの左ボタンで1回クリックします。次のように、文字の周囲に 8 つの黒点が現れます。



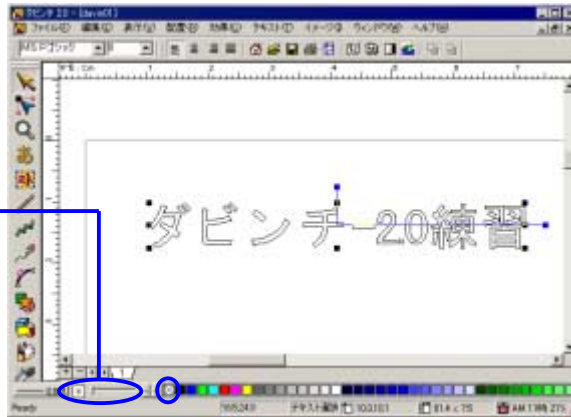
文字の周囲
に選択点
が表示される



3

文字が選択された状態 (選択点が表示された状態) で、作業ウィンドウの下にあるカラー バーで任意の色をクリックすると、文字の色が変わります。

バーを移動すると
カラー バーが移動し、他の色を選択できる



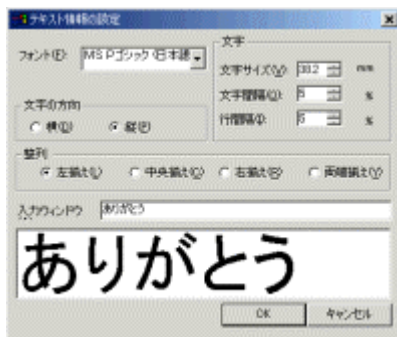
カラー バーで任意の色をクリックすると、選択した文字の色が変化します

文字のフォント、色、サイズなどの属性は、[テキスト]メニューの[テキスト情報の設定]を選択して、ダイアログ ボックスで設定することもできます。




入力ウィンドウ
に入力した内容の
プレビュー表示

入力ウィンドウに「ありがとう」というテキストを入力してください。入力したテキストは、次のように、指定した文字サイズとフォントでプレビュー ウィンドウに表示されます。



3.3 簡単な図形(星)を描く

1

作業ウィンドウの左側にあるアイコンの列から多角形アイコン  を見つけて、マウスでクリックします。次のツール バーが表示されたら、その中の星形のアイコンをマウス

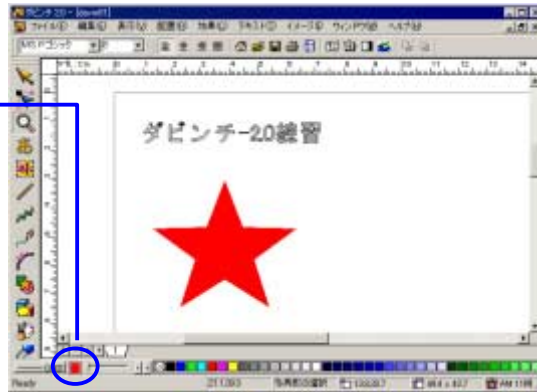


でクリックします。




星を描画する位置にマウスポインタを合わせ、マウスの左ボタンをクリックします。矢印形のマウスポインタが十字形に変わります。マウスの左ボタンを押しながらマウスを移動して星形を描き、マウスの左ボタンを離します。

現在選択されている色。図形オブジェクトはこの色で描かれる。カラーバーの他の色をマウスで選択すると、色が変化する



多角形ツールのユーザー定義機能

多角形ツールのユーザー定義機能を使用すると、さまざまな多角形を作成できます。

1. ツールボックスで多角形ツール  をクリックします。次の多角形ツールバーが表示されます。




2. 多角形ツールバーの右端にあるアイコンをクリックします。次の[多角形の設定]ダイアログボックスが表示されます。



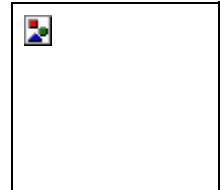
3. 角の数と深さを調節して[OK]をクリックします。このようにして、さまざまな多角形を描画できます。







3.4 オブジェクトのサイズと形の変更

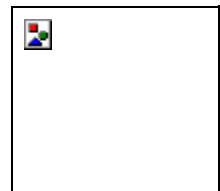
1 まず、作業ウィンドウの左側にある描画ツール バーで選択アイコン  をクリックします。マウスを先ほど描いた星形の上に合わせ、マウスの左ボタンを一回クリックします。



右図のように、文字の周囲に 8 つの黒点と 2 つの青い点が表示されます。



2 マウス ポインタを星形の周囲にある 8 つの黒点に近付けると、矢印形のマウス ポインタ  が 、、 などに変わります。

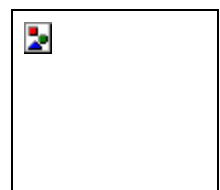
ここでマウスの左ボタンを押しながらマウスを移動して、選択した星形のサイズを調節できます。少し広げてみてください。





3 選択した星形の右側にある青い点にマウスを合わせると、矢印形のマウス ポインタ  が  に変わります。

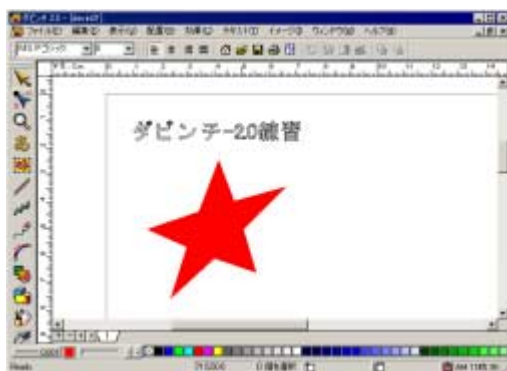
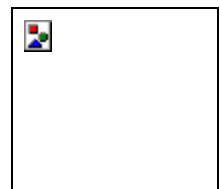
ここでマウスの左ボタンを押しながらマウスを動かすと、星形が回転します。

星形を自由に回転してみてください。



4 選択した星形の上部にある青い点にマウス ポインタを合わせると、矢印形のマウス ポインタ  が  に変わります。ここでマウスの左ボタンを押しながらマウスを動かすと、選択した星形が傾斜します。


星形を右に傾斜してみてください。





3.5 作成したファイルの保存

1

[ファイル]ー[保存]または[ファイル]ー[名前を付けて保存]を選択するか、またはツール ボックスでフロッピー形の[保存]アイコン  をクリックします。次の[名前を付けて保存]ダイアログ ボックスが表示されます。



2

保存するファイル名を[ファイル名]に「example」と入力し、[保存]ボタンをクリックします。指定した名前ファイルが保存され、ダイアログ ボックスが消えます。



ダビンチ 2.0 でファイルを保存するパス

この場合、ダビンチ 2.0 で保存したファイル (DVI ファイル) は、`c:\¥Program Files¥davinci¥user` フォルダの中に保存されます。このファイルは、ホーム画面で[開く]を選択して簡単に読み込めます。



ファイルに保存する理由

[ファイル]とは、コンピュータで資料を保存したり管理する単位のことです。コンピュータの中に保存されているファイルについてよく知ることが、コンピュータに熟達する近道です。

それぞれのファイルは、他のファイルと区別できるように、固有の名前を持っています。ファイルの名前はベース名 (ファイル名) と拡張子で構成されます。ベース名と拡張子は、1 つのドット (点) で分けられます。たとえば、`sample.hwp` というファイルのベース名は `sample`、拡張子は `hwp` です。拡張子からファイルの種類を判断できます。

ダビンチ 2.0 で作成した文書には `dvi` (`davinci` の略) という拡張子が付けられます。`sample.dvi` というファイルがあったなら、`dvi` という拡張子から、このファイルがダビンチ 2.0 で作成されたファイルであり、ダビンチ 2.0 で読み込んで編集したり出力できることがわかります。



サンプル リストに追加

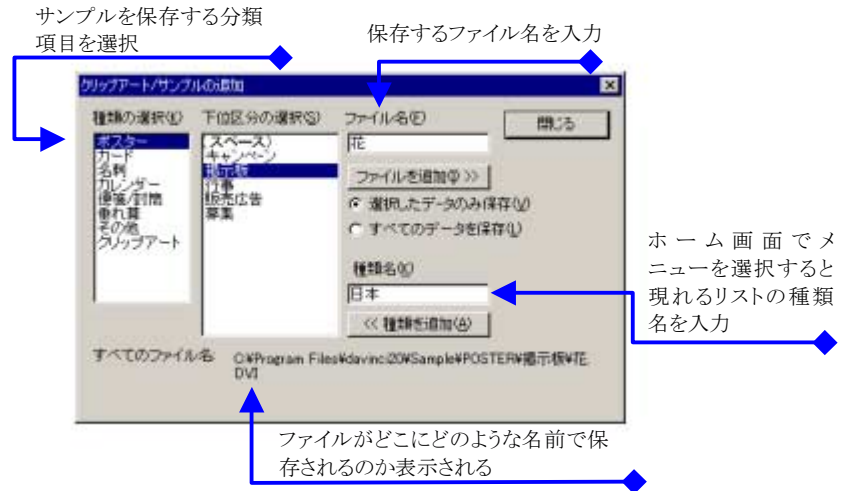
作成したファイルを `c:\¥Program Files¥davinci¥user` フォルダではなく `c:\¥Program Files¥davinci¥sample` フォルダに保存することにより、ダビンチのホーム画面にある各種のメニュー (掲示板、カード/はがき、手紙、名刺など) に選択肢として表示できます。

1

[テキスト]メニューの[クリップアートの追加]をクリックします。次の[クリップアート/サン



プルの追加]ダイアログ ボックスが表示されます。



サンプルの追加先カテゴリを選択し、保存する[ファイル名]と[種類名]を入力します。

[種類名]はメニューに表示されるだけで、実際のファイルは[ファイル名]で保存されます。[種類名]を入力しないと、自動的に[ファイル名]が[種類名]として使用されます。



[選択したデータのみ保存]または[すべてのデータを保存]を選択して、選択したオブジェクトだけ保存するか、ダビンチ 2.0 で開いている現在のファイル全体を保存するかを指定します。

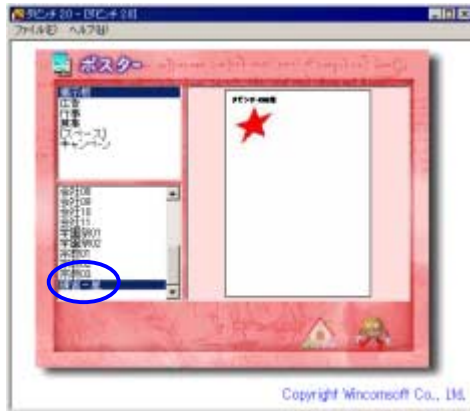


[ファイルを追加]をクリックすると、作成したファイルが[種類の選択]の場所に保存されます。

実際の保存例

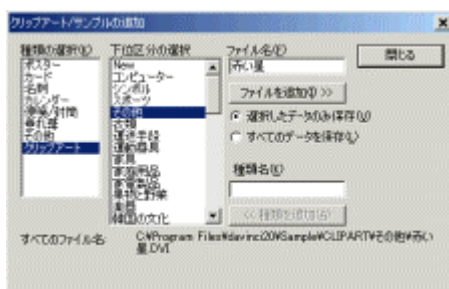
[種類の選択]で[ポスター]を選択し、[下位区分の選択]で[掲示板]を選択して、[種類名]を「練習-星」という名前にして保存してください。

ダビンチのホーム画面で[掲示板]メニューを選択すると、次のように[掲示板]項目に[練習-星]が表示されます。




クリップアートとして保存

特定のオブジェクトを選択し、[種類の選択]で[クリップアート]を選択します。[選択したデータのみ保存]を選択し、[ファイルの追加]ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトだけが EPS ファイル形式でクリップアートに保存されます。



3.6 ダビンチ 2.0 のホーム画面に戻る

ツール ボックスで家形のアイコン  をクリックします。作業が中断され、ダビンチ 2.0 のホーム画面に戻ります。



MDI 機能

ダビンチ 2.0 は MDI (Multiple Document Interface) ソフトウェアです。したがって、ファイルを保存せずにホーム画面に戻り、別の作業に移っても、前に作業していたファイルも維持され、新しく選択した作業ウィンドウの背後で開いています。



第 4 章 ファイルを読み込んで作業する

メニューで[開く]を選択すると、ダビンチ 2.0 で作成して保存した文書ファイル(c:\¥davinci¥user ディレクトリの DVI ファイル)を読み込み、再び編集できます。



4.1 前に作業したファイルを読み込む




ダビンチ 2.0 のホーム画面で、[開く]メニューをクリックします。次の[開く]一覧が表示されます。

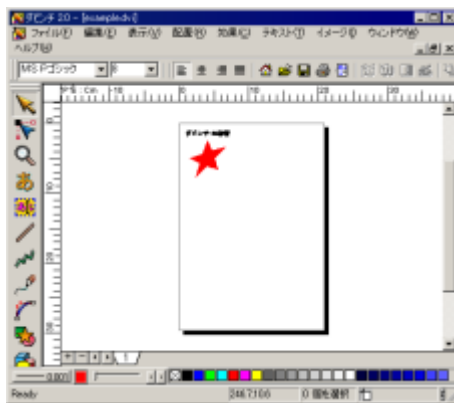


リストで選択したファイルの内容
が表示される

このリストには、3 章で作成した example ファイルが含まれています。



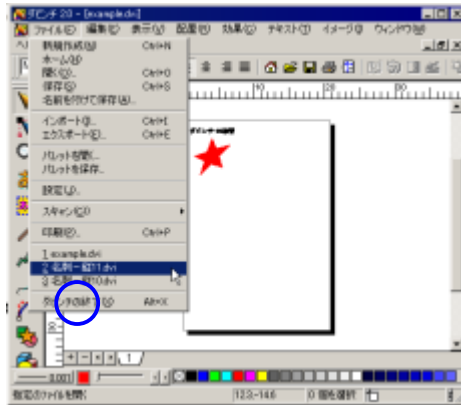
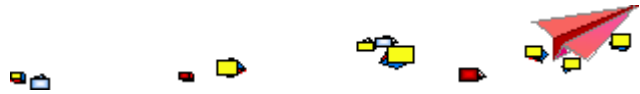
example ファイルを選択し、 をクリックします。3 章で作成した example ファイルが読み込まれます。



最近のファイル一覧を利用する

[ファイル]メニューの最近のファイル一覧を利用すると、前に作業した文書を簡単に読み込めます。



1. マウスで[ファイル]メニューをクリックします。次の項目が表示されます。

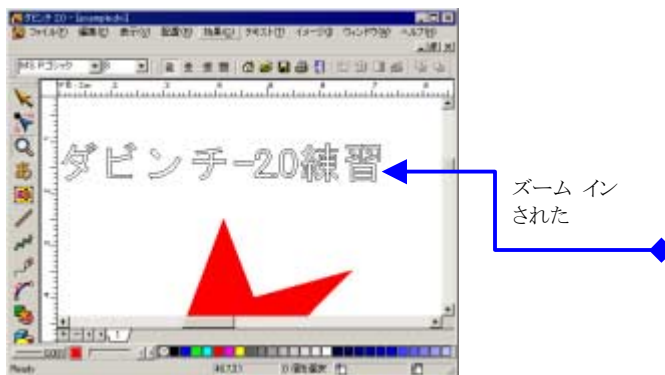



2. リスト末尾の[ダビンチの終了]の上に、最近作業したダビンチ 2.0 ファイル (DVI ファイル) が表示されます。
3. この中からファイルを選択し、マウスでクリックすれば、簡単にファイルを読み込みます。

4.2 テキストをさらに加工



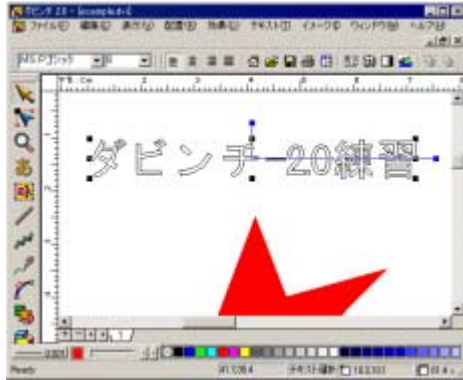
ツール ボックスでズーム イン/ズーム アウト ツール  をクリックします。マウス ポインタが虫眼鏡の形  に変化したら、「ダビンチ-2.0 練習」と書かれたテキストの上でマウスの左ボタンを 1 回クリックします。



描画ツール バーの選択ツール  をクリックします。




「ダビンチ-2.0 練習」と書かれたテキスト オブジェクトをマウスでクリックして選択します。テキスト オブジェクトの周囲に選択点が表示されます。

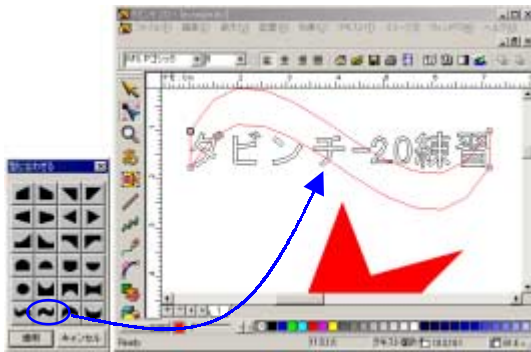


オブジェクトの選択

各オブジェクトの性質はそれぞれ異なるので、オブジェクトを選択するときは、そのオブジェクトの性質を考える必要があります。たとえば、線だけで構成されるオブジェクトは、線をマウスでクリックして選択します。面で構成されるオブジェクトは、オブジェクトの内部(色が塗られている場所)をクリックして選択します。



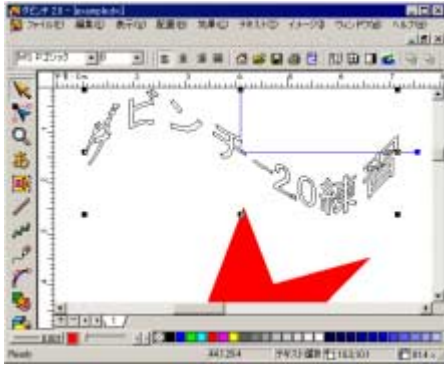
[効果]メニューの[型に合わせる]を選択するか、ツール バーで型に合わせるアイコン  をクリックします。[型に合わせる]ダイアログ ボックスが表示されます。



[型に合わせる]ダイアログ ボックスが表示されたら、テキストをどの型に合わせて変形するかをマウスで選択します。選択した形が作業領域に赤い線が表示されます。



[適用]をクリックすると、選択した型に合わせてテキストが変形します。

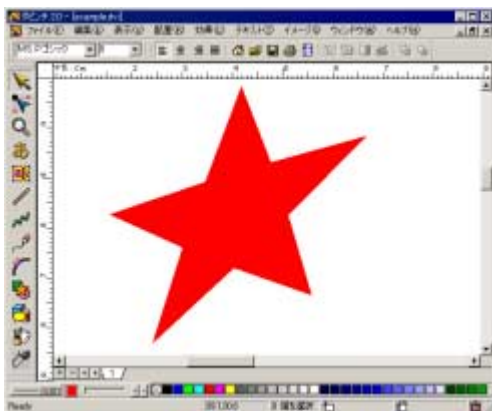



4.3 同じオブジェクトをもう1つ作成する

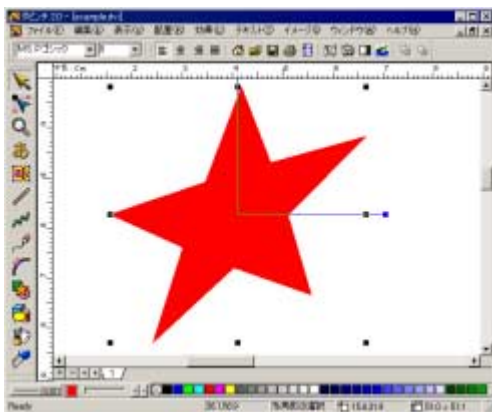
今度は3章で作った星形をコピーして、同じ星形をもう1つ作成します。



作業ウィンドウの右側にあるスクロールバーの下向矢印をクリックして、星形を作業領域の中央に位置付けます。



描画ツールバーの選択ツール  をクリックし、作業領域にある星形をクリックして選択します。星形の周囲に選択点が表示されます。





3 [編集]メニューの[コピー]をクリックして、選択したオブジェクトをクリップボードにコピーします。画面は変化しません。

4 [編集]メニューの[貼り付け]をクリックして、クリップボードにある星形を画面に貼り付けます。

クリップボード

Windows には、クリップボードと呼ばれる一時的な記憶域があります。ダビンチ 2.0 で[編集]→[コピー]を選択すると、選択されているオブジェクトがクリップボードに格納されます。[編集]→[貼り付け]を選択すると、クリップボードに格納されている内容が再び画面上に現れます。

クリップボードはすべての Windows プログラムが共通に使用します。そのため、ダビンチ 2.0 以外のプログラムで[コピー]を実行しても、クリップボードの以前の内容は消去され、新しい内容が格納されます。クリップボードに格納されている内容は、もう一度コピーを実行すると自動的に消去されます。また、クリップボードは一時的な記憶域にすぎないため、コンピュータの電源を切ると自動的に消去されます。




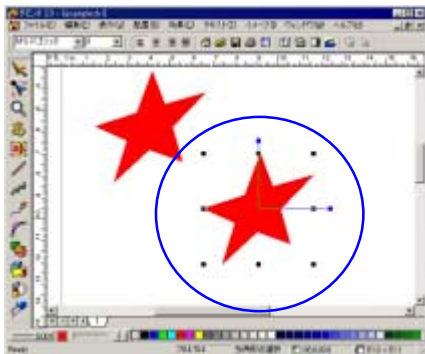
複製後の図形


[貼り付け]を実行しても星形が 1 つしか表示されませんか？

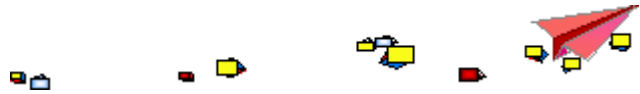
心配はいりません。同じサイズの星形を貼り付けたため、2 つの同じ星形が重なっているだけです。

4.4 オブジェクトの移動

1 マウスで描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、作業領域の星形をクリックすると、星形の周囲に選択点が表示されます。



2 マウス ポインタを選択した星形の上で移動すると、マウス ポインタの形が手形  に変わります。ここで、マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かすと、選択したオブ




ジェクトが移動します。



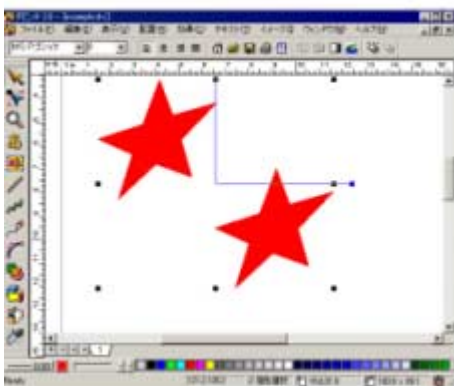
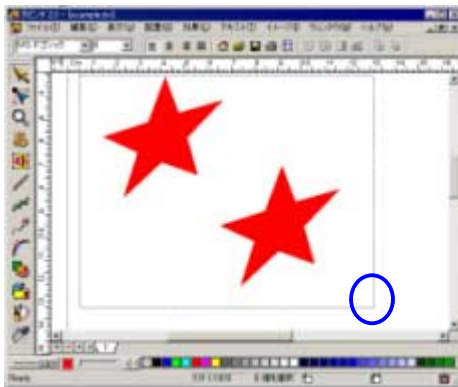
ショートカット メニュー

作業中にマウスの右ボタンをクリックすると、いくつかのメニュー項目が表示されます。これをショートカット メニューと呼びます。ショートカット メニューには現在の状況で使用できるメニュー項目が一覧表示されるので、メニュー バーから各メニューを探して選択するより便利な場合があります。

4.5 オブジェクトのグループ化

1 描画ツール バーの選択ツール  をクリックします。

2 作業領域でマウスの左ボタンをクリックし、マウスを動かします。マウスの左ボタンをクリックした地点から、マウスが移動した地点まで、四角形の枠が表示されます。



この結果、四角形の中に入るオブジェクトがすべて選択されます。この方法を使用して2つの星を一度に選択してみてください。



複数のオブジェクトを選択する別の方法

マウスの左ボタンをクリックしてオブジェクト 1 つを選択します。ここで、キーボードの <Shift> キーを押しながら別のオブジェクトをマウスの左ボタンでクリックすると、2 つのオブジェクトが同時に選択されます。同じ方法を使用して、3 つでも 4 つでも、任意の数のオブジェクトを選択できます。多くのオブジェクトが混在する中から一部のオブジェクトだけを選択するには、この方法が便利です。


選択されたオブジェクトを再び <Shift> キーを押しながらマウスの左ボタンでクリックすると、選択が解除されます。



[配置]メニューの[グループ化]をクリックします。これにより、2 つの星形が 1 つのまとまりとして移動するようになります。

4.6 グループ化を解除



描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、グループ化された星形オブジェクトを選択します。2 つの星形の周囲に選択点が表示されます。



[配置]メニューの[解除]をクリックします。画面では何も変化しませんが、2 つの星形は分離されています。



2 つのオブジェクトの分離

グループ化を解除したのに、2 つの星形が分離していないように見えますね。では、本当に 2 つの星形が分かれているか確認してみましょう。

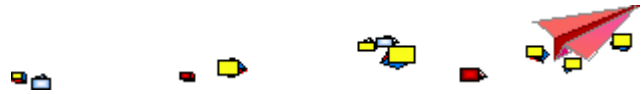
1. マウスを作業領域の空白部分に移動して、左ボタンを 1 回クリックします。2 つの星形の選択が解除され、周囲の選択点が消滅します。
2. 一方の星形をクリックします。2 つの星形が一緒に選択される代わりに、一方だけが選択されることを確認できます。



グループ化と属性のグループ化

[配置]メニューには[グループ化]と[属性のグループ化]があります。[グループ化]は、複数のオブジェクトを移動したり調整しやすいようにまとめる機能で、実際に各オブジェクトを完全に融合するわけではありません。これに対して、[属性のグループ化]を実行すると、ノード編集が可能な単一のオブジェクトに合成されます。

たとえば、色が異なる 2 つのオブジェクトを[グループ化]すると、2 つのオブジェクトは一度に作業できるグループになりますが、各オブジェクトの色は従来どおりに維持されます。これに対して、[属性のグループ化]を実行すると、一方のオブジェクトの色が他方のオブジェクトの色に合わせて変化します。



つまり、[属性のグループ化]を実行すると、単一の属性群を持つ完全に 1 つのオブジェクトが作成されます。

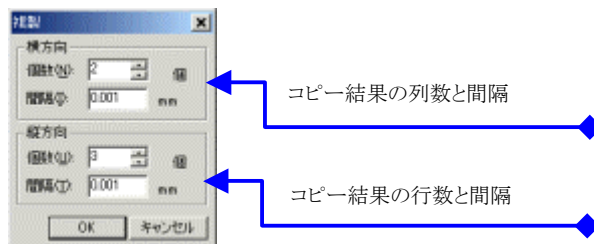
2 つのオブジェクトが重なっている状態で[属性のグループ化]を実行すると、ドーナツのような中空のオブジェクトが作成されます。

4.7 複製

[複製]機能を使用すると、1 つのオブジェクトを一度にたくさんコピーできます。



作成した 2 つの星形の一方を選択し、[編集]メニューの[複製]を選択します。次の[複製]ダイアログ ボックスが表示されます。

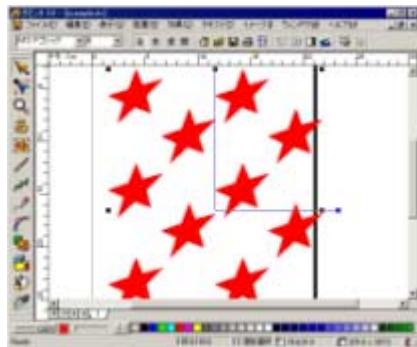


コピー結果の列数と間隔

コピー結果の行数と間隔



[複製]ダイアログ ボックスで行数、列数、行/列の間隔を入力し、[OK]をクリックすると、選択したオブジェクトが一度に複数コピーされます。




4.8 元に戻す

誤った操作を実行してしまったときは、[元に戻す]機能で状態を戻せます。です。先ほど[複製]機能で星形を 6 つコピーしましたが、この操作を元に戻してみます。

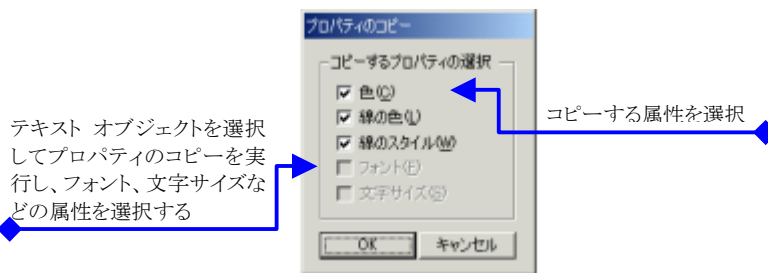
[編集]メニューの[元に戻す]を選択すると、直前に実行した操作が取り消されます。[元に戻す]を繰り返し選択すると、実行した操作が順番に取り消されます。取り消せる操作の数は、最大 99 回です。この設定については、21 ページの「2.10 作業環境の設定」を参照してください。




4.9 プロパティのコピー

[プロパティのコピー]は、あるオブジェクトの性質をコピーします。たとえば、A オブジェクトを選択した状態で[編集]メニューの[プロパティのコピー]を選択すると、マウス ポインタの形が  に変わります。ここで B オブジェクトをクリックすると、A オブジェクトの性質が B オブジェクトと同じになります。これを[プロパティのコピー]と呼びます。

- 1 2 つの星形的一方を選択し、作業ウィンドウ下部のカラー バーを使用して色を黄色に変更します。
- 2 マウスで青い星形を選択し、[編集]メニューの[プロパティのコピー]を選択します。次の[プロパティのコピー]ダイアログ ボックスが表示されます。

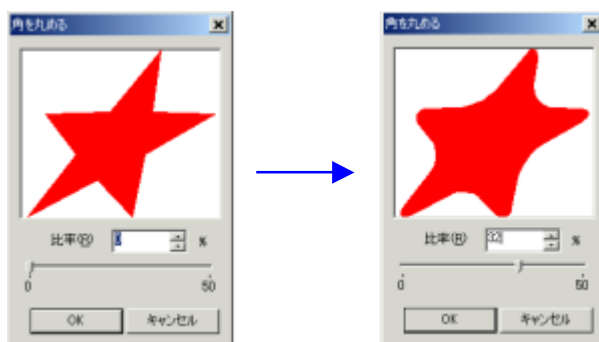


- 3 [プロパティのコピー]ダイアログ ボックスで[OK]をクリックすると、マウス ポインタが  に変わります。次に黄色い星形をクリックすると、黄色い星形の属性が青い星形に移動し、青い星形が黄色に変わります。

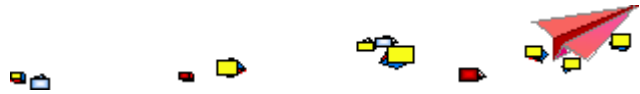
4.10 その他の効果

角を丸く

星形を 1 つ選択し、[効果]メニューの[角を丸く]を選択します。次のダイアログ ボックスが表示されます。



比率を調整して[OK]をクリックすると、星形の角が丸くなります。

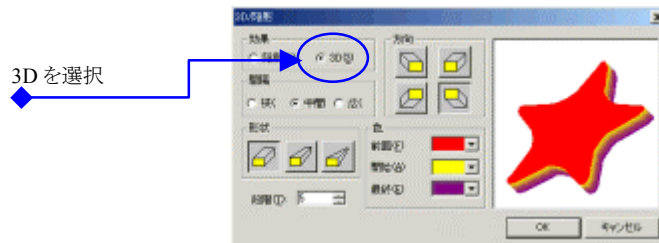


3D/陰影

星形オブジェクトを選択し、[効果]メニューの[3D/陰影]を選択すると、次の[3D/陰影]ダイアログボックスが表示されます。

1

[3D]を選択すると、方向、間隔、形状、色、段階を指定できます。プレビュー ウィンドウに図形の変化が表示されます。



2

[陰影]を選択すると、方向、間隔、色を指定できます。プレビュー ウィンドウに図形の変化が表示されます。

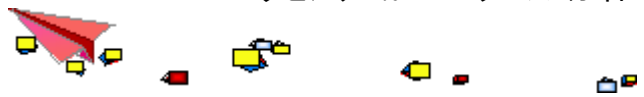


文字に[3D/陰影]の効果を適用

文字にも[3D/陰影]の効果を適用できます。テキスト オブジェクトをマウスで選択し、[効果]—[3D/陰影]を選択すると、次の[3D/陰影]ダイアログボックスが表示され、図形と同じようにさまざまな[3D/陰影]効果を適用できます。

ただし、[3D/陰影]を適用したオブジェクトは、テキスト オブジェクトとしての属性を失って、グラフィック オブジェクトになります。

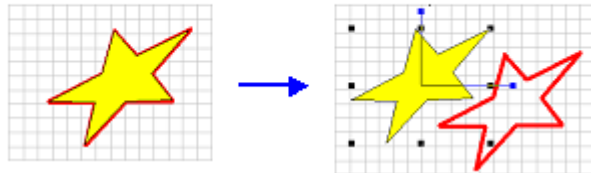






縁取り線効果

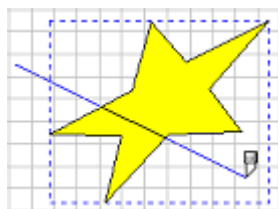
星形を選択して、[効果]メニューの[縁取り線]をクリックすると、次の[縁取り線]ダイアログ ボックスが表示され、星形の縁取り線効果を適用できます。


[OK]をクリックすると、次のように星形の縁取り線が表示されます。オブジェクトの1つを選択して動かしてみると、2つのオブジェクトがあることがわかります。




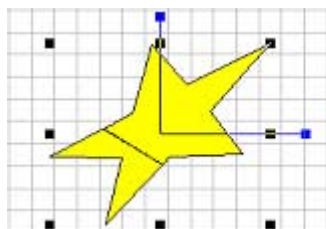
オブジェクトの切断

星形を選択し、描画ツール バーで図形の[分割]ツール  を選択すると、マウス ポインタが刃の形  に変わり、星形を任意の線で切断できます。



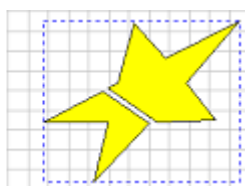
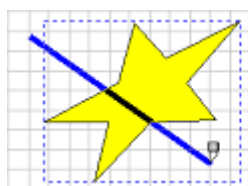
マウス ポインタが刃の形  に変わったら、マウスの左ボタンを押しながらドラッグして直線を引く

星形を切ってから、描画ツール バーで選択ツール  を選択すると、星形が選択されます。



[配置]メニューの[属性のグループ解除]を選択して、切断された個々のオブジェクトに分離

[刃の厚み]を設定して、切断部分の厚みを調節できます。環境設定の詳細については、「2.10 作業環境の設定」の21ページの「編集/グリッド」を参照してください。





第5章 カードとはがき

ダビンチ 2.0 のカード/はがき機能を使用して、友達に送るバースデー カードを作成してみましょう。ダビンチ 2.0 に付属するカードのサンプルを利用すれば、簡単に素敵なバースデー カードを作成できます。



5.1 カードのサンプル

- 1 ダビンチ 2.0 を起動し、ホーム画面で[カード/はがき]メニューをクリックします。次の[カード/はがき]一覧が表示されます。



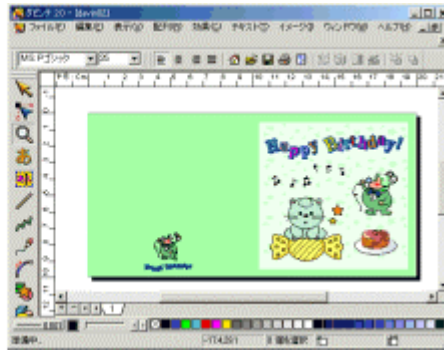
- 2 [カード/はがき]の[バースデー]を選択し、その下の一覧で[カード_07]を選択します。






- 3 アイコンをクリックすると、次のような作業ウィンドウが表示され、選択したカードが表示されます。



作業ウィンドウの図の表示サイズを調節する




作業ウィンドウに読み込んだ画像が小さすぎたり大きすぎる場合は、作業ウィンドウの左側にある[ズーム イン/ズームアウト]アイコン  をクリックします。

[ズーム イン/ズームアウト]アイコン  をクリックすると、マウスポインタが虫眼鏡の形  になります。ここでマウスの左ボタンを1回クリックすると、作業ウィンドウの画像がズームインされます。マウスの右ボタンを1回クリックすると、画像がズームアウトされます。このようにして、画像のサイズを作業しやすいように調節できます。

5.2 カードの印刷

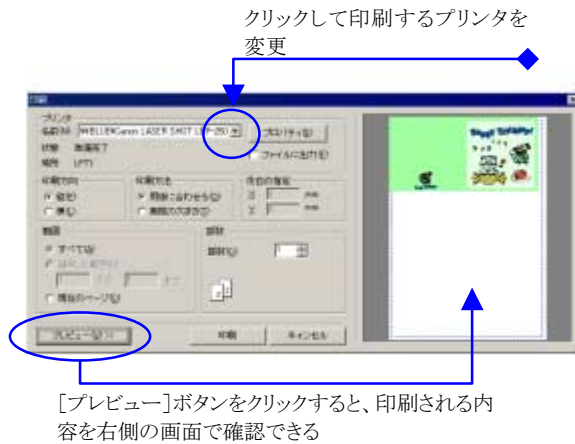
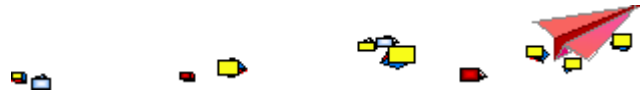
ダビンチ 2.0 に付属するカードやはがきの中から読み込んだ「キャンディと描」のカードを印刷します。



ファイルを印刷するには、ツールボックスで印刷アイコン  をクリックするか、[ファイル]メニューの[印刷]をマウスでクリックします。次の[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



[プリンタ]には、コンピュータの既定のプリンタとして設定されているプリンタ名が表示されます。印刷方向、方法、範囲、枚数を指定して、[印刷]ボタンをクリックします。[プレビュー]をクリックし、印刷方向や方法を変更すると、どのように印刷されるかが表示されます。



5.3 一覧からはがきを選択


今度は友達に送る絵はがきを作ってみましょう。ダビンチ 2.0 の一覧からはがきを読み込んで、テキストを入力して完成させます。



1 ダビンチ 2.0 を起動して、[カード/はがき]メニューをクリックします。

[カード/はがき]一覧が表示されます。一覧から[はがき横]を選択し、「はがき_10」をクリックします。




2 カードを選択して  アイコンをクリックすると、次の「Human's Dream」カードが作業ウィンドウに表示されます。



5.4 テキストを入力



1 描画ツール バーの選択ツール  をクリックし「Human's Dream」と描かれたオブジェクトをクリックして選択します。



2 [編集]メニューの[削除]または[切り取り]をクリックします。選択したオブジェクトが作



業ウィンドウから消えます。


「Human's Dream」という文字は、黒色の文字オブジェクトの上に赤色の文字オブジェクトを重ねることで作成されています。削除を 1 回実行すると、上にある赤色の文字オブジェクトだけが消えます。もう一度削除を実行すると、黒色の文字オブジェクトが消えます。なお、このオブジェクトはテキストではなく画像なので、単純にテキストの内容を編集することはできません。



削除と切り取りの違い

削除と切り取りは画面で見ると似ていますが、両者の機能はかなり違います。削除で消したオブジェクトは、完全に消滅します。これに対して、切り取ったオブジェクトは、画面からは消えますがクリップボードという一時的な記憶域に格納されます。そのため、再び[貼り付け]を実行して、任意の場所に表示できます。[切り取り]を実行するときは、それによってクリップボードに格納されていた項目が消えることに注意してください。



描画ツール バーでテキスト入力ツール  をクリックします。「Human's Dream」というテキストがあった位置に移動して、マウスの左ボタンを 1 回クリックします。テキスト入力を待つカーソルが画面に表示されます。




「暑中お見舞い」と入力してください。次のようになります。



5.5 テキスト内容の編集

「暑中お見舞い」の後に「申し上げます」という文を追加してみます。[テキスト]メニューを使用して、入力したテキストの内容を編集します。

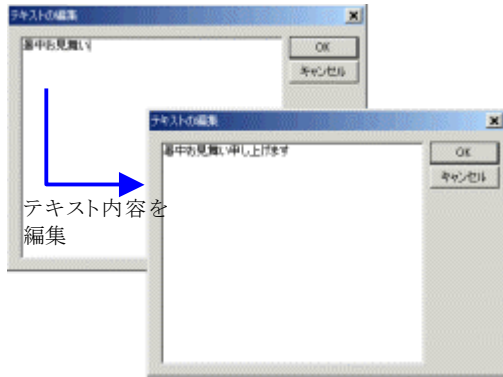


マウスで描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、「暑中お見舞い」テキストオブジェクトをクリックして選択します。



[テキスト]メニューの[テキストの編集]をクリックします。次の[テキストの編集]ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには、すでに「暑中お見舞い」と入力されています。このテキスト内容を「暑中お見舞い申し上げます」に変更します。



3


[テキストの編集]ダイアログ ボックスでテキストを変更して[OK]をクリックすると、作業ウィンドウのテキストが次のようになります。



5.6 入力したテキストの書式の変更

入力したテキストの文字が大きすぎて、はがきの枠をはみ出しそうです。そこで、フォントのサイズと種類も変えることにします。

1

描画ツール バーの選択ツール  をクリックして、「暑中お見舞い申し上げます」のテキスト オブジェクトをマウスで選択します。

2

[テキスト]メニューの[テキスト情報の設定]をクリックします。次の[テキスト情報の設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

このダイアログ ボックスで、[フォント]を MS ゴシックに、[文字サイズ]を 10.32 に設定します。



[テキストの情報設定]ダイアログ ボックスでは、文字方向を縦にしたり、テキストの整列方法を変更することもできます。




3 フォントを設定し、[OK]をクリックします。




5.7 入力したテキストを波打たせる

水平に並んでいるテキストに少し変化をつけてみましょう。入力したテキストを波型に流す異にします。これをパノラマ機能と呼んでいます。




1 描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、テキスト オブジェクトをクリックして選択します。



2 マウス ポインタをテキストのオブジェクトの上に移動します。マウス ポインタが手形  に変わったら、マウスの左ボタンを押しながらドラッグして、カードの下の空白領域にテキスト オブジェクトを移動します。



3

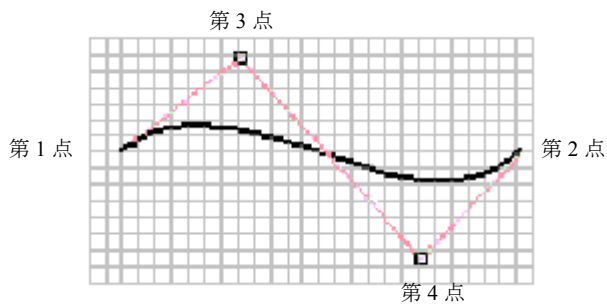
描画ツールバーで自由曲線  を選択します。テキストオブジェクトの下に波形の連続曲線を描きます。



連続曲線

[連続曲線]アイコンを選択した後、作業領域でマウスの左ボタンを最初にクリックした点が曲線の始点になり、次にマウスの左ボタンをクリックした点が曲線の終点になります。このときはまだ直線に見えます。

さらにマウスを動かし、左ボタンを3番目、4番目にクリックした点が、曲線を構成する屈曲基準点になります。この結果、これらの点を結ぶ最適化曲線が作成されます。






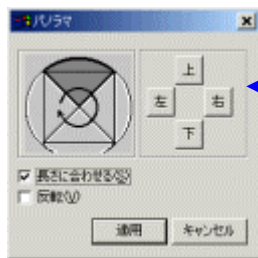
連続曲線を描くとき、曲線の終点(第2点)は自動的に次の曲線の始点(第1点)になり、5番目にクリックした位置は2番目の曲線の終点(第2点)になります。この曲線は、6番目、7番目の点を基準とする最適化曲線として描かれます。

曲線の終点(第2点)を指定するとき、キーボードの <Shift> キーを押しながらマウスの左ボタンをクリックすると、第3、第4の点を入力せずに直線を描けます。<Shift> キーを適当に使用することで、曲線と直線を混ぜながら連続線を描くことができます。

連続曲線の入力を終えるには、マウスの右ボタンをクリックします。また、連続曲線の出発点と終点が一致して閉曲線になると、連続曲線の入力は自動的に終了します。

4

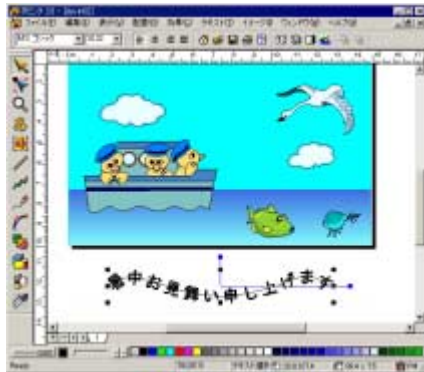
描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、テキスト オブジェクトと連続曲線オブジェクトを一緒に選択して、[テキスト]メニューの[パノラマ]を選択します。次の[パノラマ]ダイアログ ボックスが表示されます。




図形とともにパノラマ機能を実行するとき、図形のどの位置にテキストを配置するかを決定する。線の場合は無効

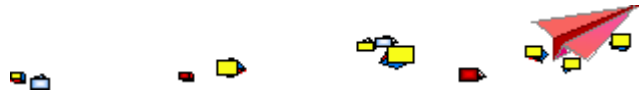
5

[長さに合わせる]を選択して[適用]をクリックすると、テキスト オブジェクトが連続曲線に合わせて変形し、パノラマが完成します。



6

完成したパノラマのオブジェクトにマウス ポインタを合わせます。マウス ポインタが手形  に変わったら、マウスの左ボタンを押しながら動かして、パノラマ オブジェクトをカード上の適切な位置に移動します。



パノラマ オブジェクトが完成した後も、パノラマの作成に使用した連続曲線オブジェクトはまだ残っています。最後にこのオブジェクトを消して、作業を終わめます。



[パノラマ]メニュー項目の選択

テキスト オブジェクトと連続曲線オブジェクトを一緒に選択するとき、第 3 のオブジェクトも選択されていると、メニューで[パノラマ]を選択できません。必ずテキストと連続曲線の 2 つのオブジェクトだけを選択してください。



パノラマ


連続曲線だけでなく、自由曲線、各種の多角形などを使用してパノラマを作成できます。さまざまなオブジェクトで試してみてください。

ただし、外部の画像ファイル、ドーナツ形状、2 つのオブジェクトを混合したオブジェクトなどは、パノラマ機能で使用できません。曲線、直線、閉曲線などの単純なオブジェクトだけを使用できます。

5.8 グラデーション

先ほどのはがきの画像では、空の色はどの場所でも均一ですが、海の色は水平線に近くなるにつれて色が少しずつ濃くなっています。このように色が少しずつ変化する効果を[グラデーション]と呼びます。空にも海と同じようにグラデーションをつけることにします。



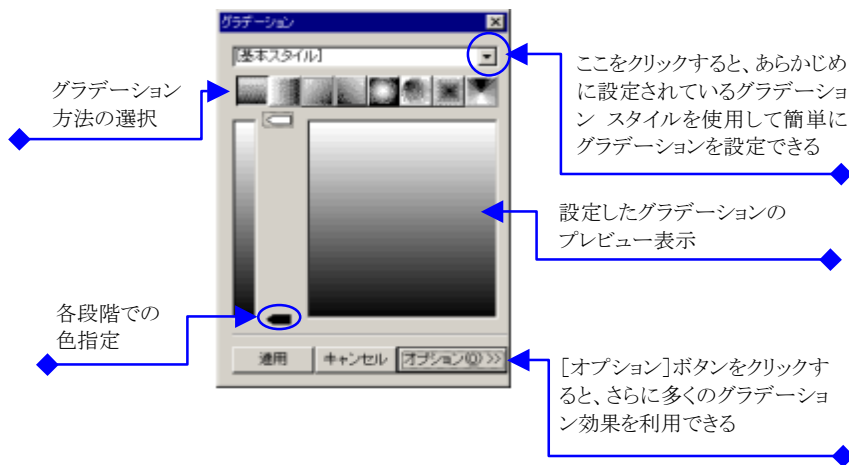
描画ツール バーの選択ツール  をクリックし、空の部分を選択します。雲などのオブジェクトがない空の部分をクリックしてください。

空のオブジェクトを選択すると、周囲に選択点が表示されます。カード全体が選択されたように見えますが、よく見ると大きな空オブジェクトが海オブジェクトの背後まで存在しているのがわかります。海オブジェクトはその上に重なっています。



2

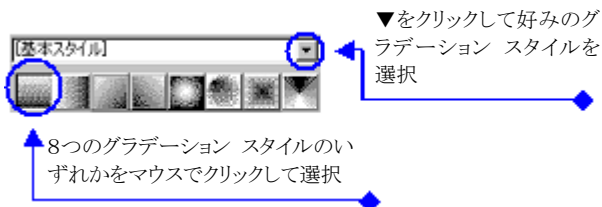
[効果]メニューの[グラデーション]をクリックします。次の[グラデーション]ダイアログボックスが表示されます。



簡単なグラデーションの指定

初心者には複雑なグラデーションは難しいかもしれません。グラデーションスタイル機能を利用すれば、初心者でも簡単にグラデーションを扱えます。

グラデーションスタイルとグラデーション方法を選択するだけで、簡単にグラデーションを指定できます。

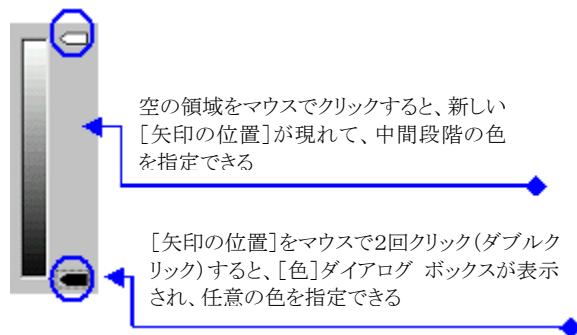


3

上のグラデーション色の設定領域では、上の矢印が白、下の矢印が黒で表示されています。つまり、現在は上から下に向かって白色から黒色に変化するグラデーションが



設定されています。



4

一番下の [矢印の位置] の少し上の空白領域でマウスの左ボタンをクリックしてください。次のように新しい [矢印の位置] が表示されます。



5

新しく作成された [矢印の位置] をマウスでダブルクリックします。[色] ダイアログ ボックスが表示されます。



6

グラデーションに使う色を指定して [OK] をクリックすると、選択した色を中間段階にしてグラデーションが作成され、[グラデーション] ダイアログ ボックスに表示されます。



[グラデーション]ダイアログ ボックスの[オプション]をクリックすると、[グラデーション]ダイアログ ボックスが右側に拡張されます。



今度は[角度]に「20」と入力して、[オプションの適用]をクリックします。



[適用]をクリックすると、グラデーションがかかったきれいな空が表示されます。



中心の位置

[中心の位置]は、特定のグラデーション方法を選択したときに使用できます。X 座標と Y 座標でグラデーションの中心を入力して、変化を与えます。



グラデーション

スタイルを保存
スタイルを削除

明度 (%)

相対 (%)

角度 (°)

中心の位置

X: 50

Y: 50

オプションの適用

中心を X=50、Y=50に設定

グラデーション

スタイルを保存
スタイルを削除

明度 (%)

相対 (%)

角度 (°)

中心の位置

X: 20

Y: 40

オプションの適用

適用 キャンセル オプション >>

中心を X=20、Y=40に変更



第6章 名刺

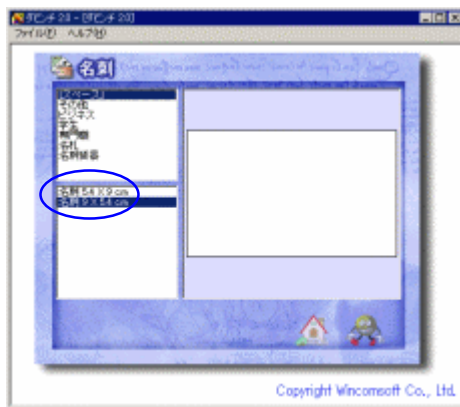
ダビンチ 2.0 のテンプレート機能を使用して素敵な名刺を作成します。



6.1 テンプレートを使った名刺の作成




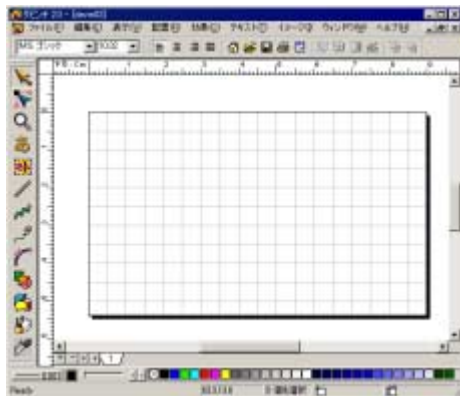
ダビンチ 2.0 のホーム画面で[名刺]アイコンをクリックします。一覧で[スペース]を選択し、[名刺 9×5.4cm]を選択します。



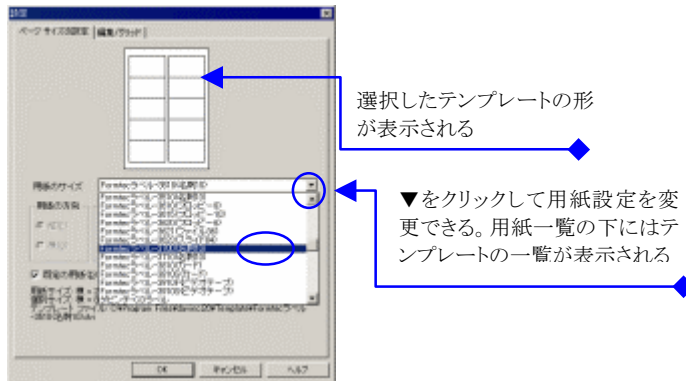
[スペース]以外のサンプルを使用すると、既存のデザインに内容だけ入力して、簡単に名刺を作成できます。



名刺を選択して  をクリックすると、名刺大の横方向の新規作業ウィンドウが表示されます。



[ファイル]メニューの[設定]を選択します。



[用紙のサイズ]一覧で適切なテンプレートを選択し、[OK]をクリックします。



テンプレート

このテンプレートは、印刷時にフィルタと似た役割を果たすフレームです。名刺のように小さな文書をプリンタで印刷すると、実際に印刷された結果は印刷用紙よりもかなり小さくなってしまいます。そこで、文書サイズの小さな枠を印刷用紙に一定数並べて、それぞれの枠の中に名刺ファイルをはめ込んで印刷できます。

文書サイズの枠を印刷用紙に複数並べたフレームのことを「テンプレート」と呼びます。

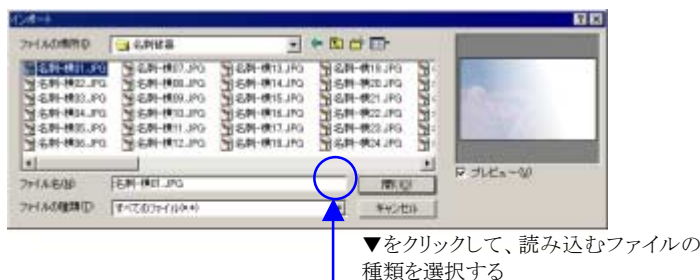
ダビンチ 2.0 には、印刷用の便利なテンプレートが数多く付属しています。また、テンプレートのユーザー定義機能を使用して、さまざまなテンプレートを作成できます。

ユーザー定義のテンプレートを使用して作成したファイルを読み込むには、そのダビンチ 2.0 ファイルとテンプレート ファイルの両方が必要です。すべてのダビンチ 2.0 ファイルとテンプレート ファイルは、DVI ファイルとして保存されます。

6.2 名刺の背景



名刺の背景のファイルを読み込むには、[ファイル]メニューの[インポート]を選択します。次の[インポート]ダイアログ ボックスが表示されます。

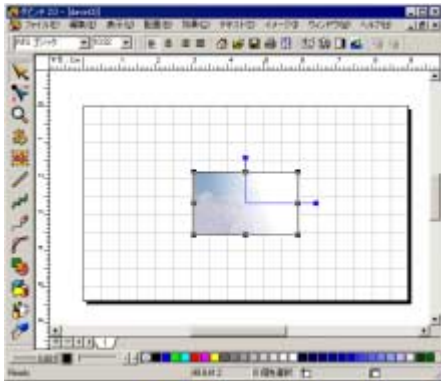




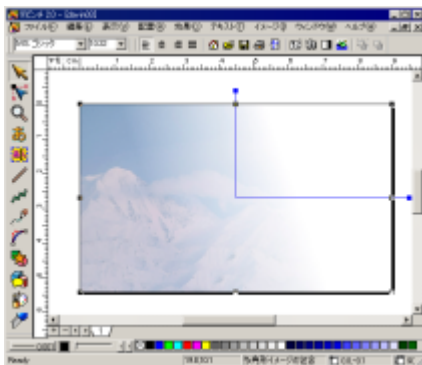
ここでは、「c:\¥Program Files¥davinci¥picture¥名刺の背景」フォルダから「名刺-横 01.jpg」ファイルを選択します。




挿入するファイルがある場所へ移動してファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。選択したファイルが画面の中央に表示されます。

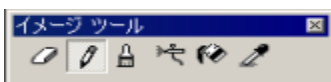


読み込んだイメージのサイズと位置を調節して、作業領域いっぱい拡大します。作業領域を外れると、端が重なって印刷されます。



6.3 イメージ ツールの使用

描画ツールバーのイメージ ツール  をクリックすると、次のイメージ ツールバーが表示されます。このイメージ ツールを使用すると、読み込んだイメージに特殊な効果を与えて、さまざまな変化をつけます。



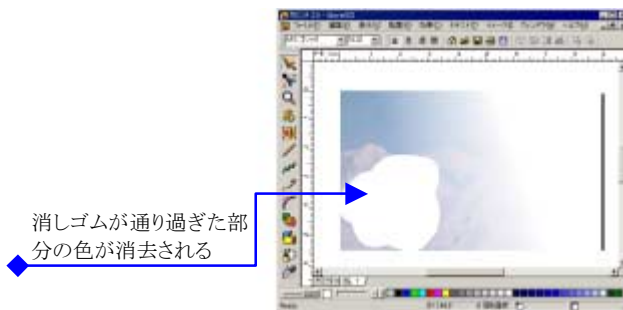
イメージ ツールバーでは、消しゴム、鉛筆、ブラシ、エアブラシなどの各種イメージツールを選択して、色の変更、塗りつぶし、エアブラシによる吹き付け、描画、重ね塗りなどを行えます。

注意 イメージ ツールは、インポートしたイメージ画像に対してだけ使用できます。通常の作業領域や図形オブジェクトに対して使用することはできません。



✎ 消しゴムツール

イメージの一部を消去します。マウスの左ボタンを押しながらイメージ上で動かすと、消しゴムが通り過ぎた部分が消去されます。消しゴムの色はカラーバーで選択できます。



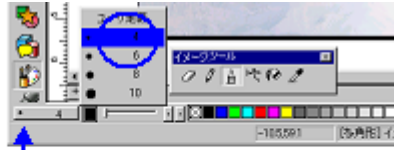
✎ 鉛筆ツール

イメージ上に重ねて図形を描きます。マウスの左ボタンを押しながら移動すると、線が描画されます。

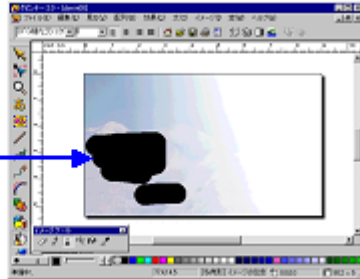


■ ブラシ ツール

イメージの一部を任意の色で塗りつぶします。マウスの左ボタンを押しながらドラッグします。



クリックしてブラシの
サイズを変更できる



ブラシが通り過ぎた場所
がカラー バーで選択し
た色で満たされる

✎ エアブラシ ツール

カラー バーで選択した色をイメージ上に霧吹きのように円く噴射します。マウスの左ボタンをクリックするたびに、1回ずつ噴射します。



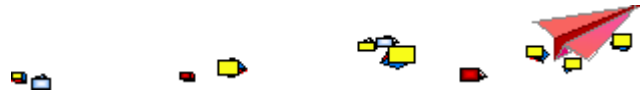
クリックすると、エアブラシで噴射する
範囲を変更できる



エアブラシで噴射した
場所に多数の細かい
点を描かれる

✎ 塗りつぶしツール

同じ色で塗りつぶされている連続領域を他の色で塗りつぶします。



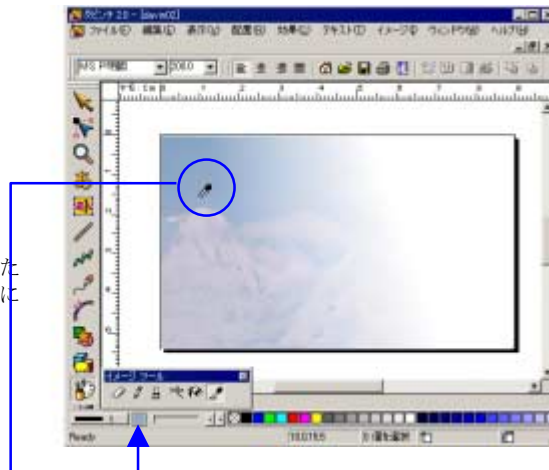
消しゴムで消した部分やブラシで塗った領域に対して[塗りつぶし]を実行すると、色をまとめて変更できる



スポイト ツール

イメージ内で使われている色を選択します。スポイト ツールを選択すると、マウス ポインタがスポイトの形に変わります。そのポインタをイメージ上に移動して、目的の色をマウスの左ボタンでクリックすると、その色がカラー バーに設定されます。

スポイトで選択した色がカラーバーに設定される



6.4 イメージ ファイルのインポート

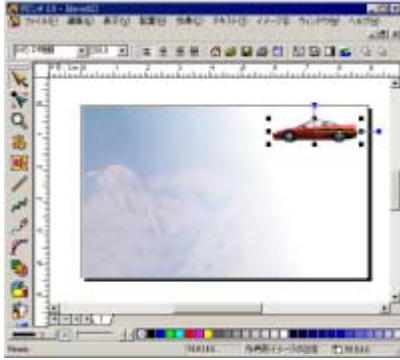


名刺の背景イメージを読み込んだときと同じように、[ファイル]—[インポート]を選択して、名刺をアレンジするイメージ ファイルを読み込みます。



イメージを選択し、マウスの右ボタンでカラー バーの[透明]ボタン をクリックすると読み込んだイメージの枠線が消えます。新しく読み込んだイメージのサイズを調節して、ページ内にうまく配置してください。

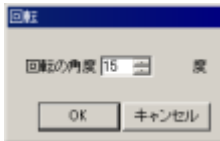
ここでは、「c:\ProgramFile\davinci\picture\ホームページ」フォルダから「スポーツカー.jpg」を選択します。



選択したオブジェクトの色を指定する場合、マウスの左ボタンをクリックすると面の色が指定され、右ボタンをクリックすると輪郭線の色が指定されます。



イメージを選択して[効果]メニューの[回転]を選択すると、次の[回転]ダイアログボックスが表示されます。[回転角度]に「15」と入力して、[OK]ボタンをクリックします。



選択したイメージを時計回りに約 15 度傾ける

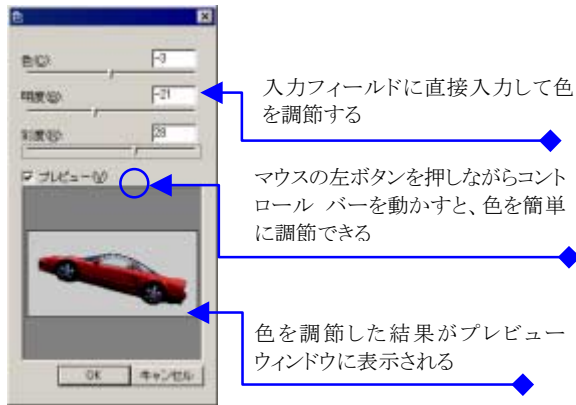


6.5 読み込んだイメージの編集

ダビンチ 2.0 では、イメージ ツールを使用してイメージ ファイルをさまざまに編集できます。イメージ ツールを使用すると、イメージの表現を何とおりにも変化させます。

色の調節

イメージ オブジェクトを選択し、[イメージ]メニューの[色] - [色]をクリックすると、次のダイアログ ボックスが表示されます。

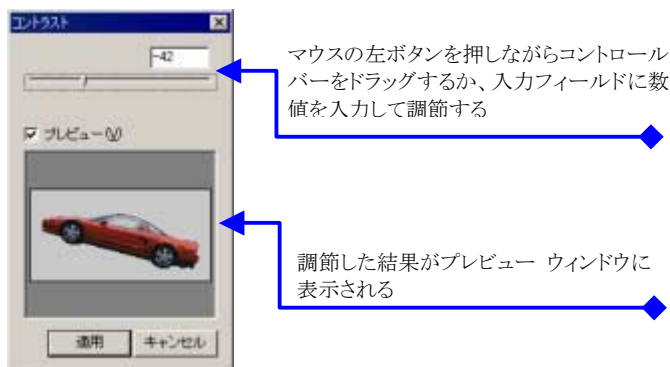


[プレビュー]ウィンドウで変化を確認しながら、色相、明度、彩度を調節し、[適用]をクリックしてください。

[色]は色を区別し、赤、青、黄、緑などを指定します。[明度]は色の明るさで、白が最も明るく、黒が多いほど暗くなります。[彩度]は色の鮮明さを表します。最も彩度が高い色を「純色」と呼びます。色相、明度、彩度は「色の 3 要素」と呼ばれます。

コントラスト

イメージ オブジェクトを選択し、[イメージ]メニューの[色]—[コントラスト]をクリックすると、次のダイアログ ボックスが表示されます。



コントラストは色の差異の量を表します。コントラストが高いと、まったく異なる 2 つの色が並んでいるとき、互いがくっきりと感じられます。補色の対比はその例です。

露光

イメージ オブジェクトを選択し、[イメージ]メニューの[色]—[露光]をクリックすると、ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスの使い方は、上で説明した[色]または[コントラスト]ダイアログ ボックスと同じです。

このダイアログ ボックスで明るさを調節します。最も明るくすると白になり、暗くするほど黒に近くなります。[プレビュー]で結果を確認できます。



色の反転

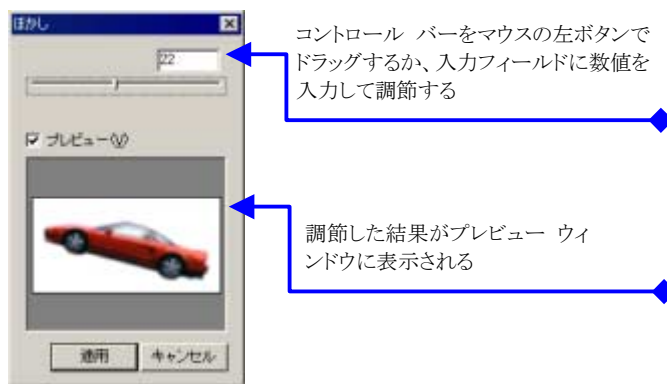
イメージ オブジェクトを選択し、[イメージ]メニューの[色]－[色の反転]をクリックすると、即座にイメージの色が反転します。ダイアログ ボックスは表示されません。色の反転の原理は、ネガ フィルムから写真を作成する場合と同じです。

グレースケール

イメージ オブジェクトを選択して、[イメージ]メニューの[色]－[グレースケール]をクリックすると、カラー イメージが白黒になります。色の違いはグレースケールの明暗に置き換えられます。ダイアログ ボックスは表示されません。

ぼかし

[イメージ]メニューの[効果]－[ぼかし]を選択すると、イメージがぼかされ、霧が立ち込めたような効果が得られます。



その他の効果

このほかにも、イメージにさまざまな効果を与えます。それぞれの機能を実際に試して、効果を体験してみてください。

- ✓ [イメージ]－[効果]－[ノイズ]を選択すると、不規則な残像が画像に挿入されます。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[エンボス]を選択すると、凸凹が出現します。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[メディアン]を選択すると、イメージが 2 つの中間色で塗りつぶされます。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[モザイク]を選択すると、画像にモザイク効果が加わります。これは、テレビ ニュースなどで犯人の顔に「モザイクをかける」と同様の効果です。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[油絵効果]を選択すると、イメージが油絵の具で描いた



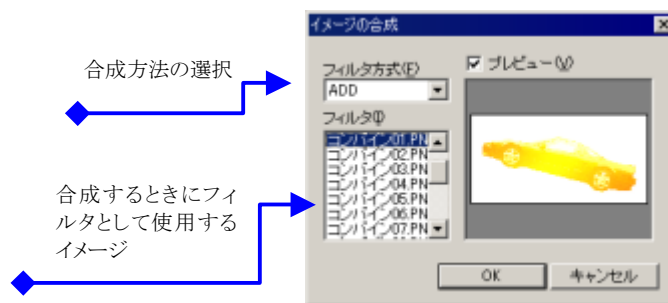
ようになります。

- ✓ [イメージ]－[効果]－[シャープ]を選択すると、輪郭線がはっきり表示され、画像の輪郭が鮮明になります。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[ポスタライズ]は、イメージにポスター効果を与えます。結果はプレビューで確認してください。
- ✓ [イメージ]－[効果]－[フェザー]を選択すると、画像の境界部分がにじみます。この効果は、中央部を強調したいときなどに使用します。たとえば、人物写真で顔を強調するときに便利です。

6.6 合成

ダビンチ 2.0 では、2つのイメージをさまざまな方法で合成できます。2つのイメージ オブジェクトを一緒に選択し、[イメージ]メニューの[合成]を選択すると、11 種類の合成方法が提示されます。

1 つのイメージを選択し、[フィルタ]をクリックすると、[フィルタ合成]ダイアログ ボックスが表示されます。ここでは、フィルタとして使用するイメージ画像と、合成方法を指定します。



合成方法を簡単に紹介します。

- ADD : 元のイメージの各ピクセルに選択したイメージの各ピクセルを加算します。
- AND : 選択した 2 つのイメージのうち、重複する共通のピクセルだけを残します。
- OR : 2 つのイメージを合わせて 1 つにします。
- XOR : 2 つのイメージの共通部分を除外して 1 つのイメージを作成します。
- SUBSRC : 合成するイメージの各ピクセルから元のイメージの各ピクセルを減算します。



す。

- SUBDST : 元のイメージの各ピクセルから合成するのピクセルを減算します。
- MUL : 2つのイメージのピクセルを掛け合わせます。
- DIVSRC : 合成するイメージの各ピクセルを元のイメージの各ピクセルで除算します。
- DIVDST : 元のイメージの各ピクセルを合成するイメージの各ピクセルで除算します。
- AVG : 2つのイメージの各ピクセルの平均値を表示します。
- MIN : 2つのイメージの各ピクセルの最小値を表示します。
- MAX : 2つのイメージの各ピクセルの最大値を表示します。

6.7 テキスト入力と印刷

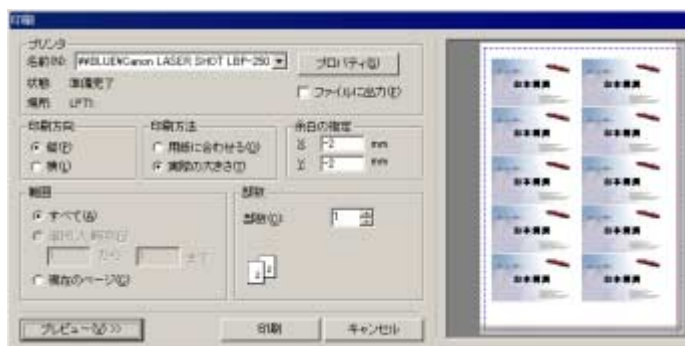
テキスト アイコンを選択し、名前、職業、住所、電話番号などを入力して、文字のフォント、サイズ、整列などを指定します。



ファイルを保存して印刷し、作業を完了します。



[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。[印刷]ダイアログ ボックスが表示されたら [プレビュー]をクリックし、テンプレートによって名刺がどのように印刷されるかを確認します。最後に、[印刷]をクリックして印刷してください。





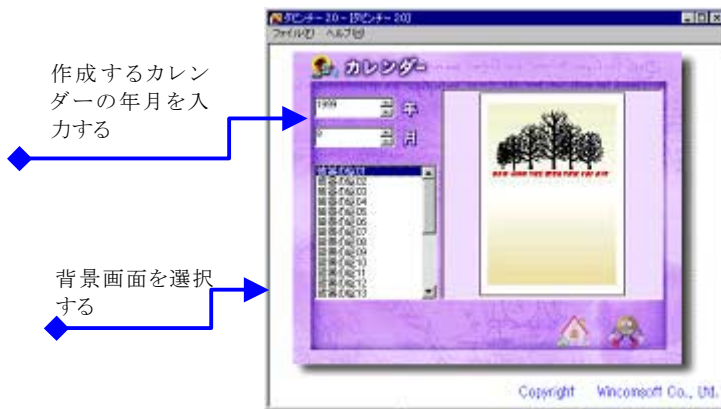
第7章 カレンダー

ダビンチ 2.0 にはカレンダー機能があります。今年のカレンダーはもちろんのこと、数百年前のカレンダーもきれいな背景に印刷できます。



7.1 新しいカレンダー

- 1 ダビンチ 2.0 のホーム画面でカレンダーを選択します。次のカレンダー一覧が表示されます。



現在の年月が初期値として設定されています。つまり、現在の年月でカレンダーを作成する場合、指定の必要はありません。

- 2 年月の入力フィールドにカレンダーの年月を入力します。

ここでは「2001 年 7 月」と入力しました。




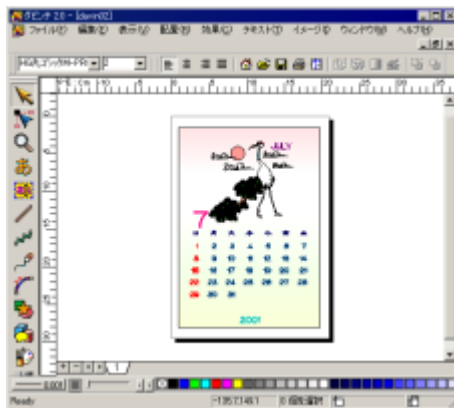
それには、マウスで年月のフィルタをクリックして直接入力するか、入力フィールドの右側にある増減ボタン(▲▼)をクリックします。

- 3 一覧で背景を選択します。「背景 17」をマウスをクリックして選択すると、選択した背景が次のようにプレビュー画面に表示されます。



プレビュー ウィンドウには、カレンダーの日付は表示されません。選択した背景画像だけが表示されます。

 をクリックすると、選択した背景のカレンダーが作成されます。



7.2 テキストの入力

カレンダーに対しても、他のダビンチ 2.0 ファイルと同じように、イメージやテキスト オブジェクトなどを追加、削除して編集できます。


カレンダーの右上に「JULY」というテキストがあります。これを「七月」に変えてみましょう。

-  描画ツール バーで選択ツール  を選択します。「JULY」というテキスト オブジェクトをクリックして選択します。



テキスト オブジェクトだけを選択する

画像全体が「グループ化」されていると、テキスト オブジェクトだけを選択できません。その場合は、最初に[配置]→[グループ解除]を実行してから選択してください。

-  マウスで「JULY」というテキスト オブジェクトを連続2回クリック(ダブルクリック)するか、



[テキスト]メニューの[テキストの編集]を選択します。



[テキストの編集]ダイアログ ボックスが表示されたら、「七月」と入力して[OK]をクリックします。



第3章と第4章で練習したように、文字のフォントや色を変えたり、位置を移動してみてください。

完成したカレンダーをプリンタで印刷して完成です。



第 8 章 レター

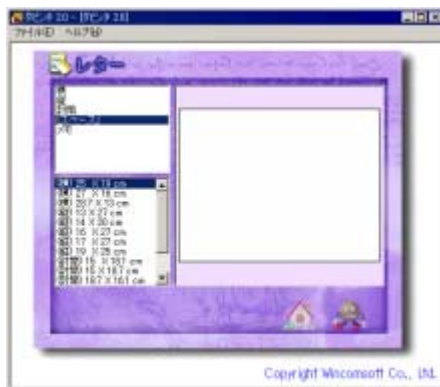
ダビンチ 2.0 に付属するレター機能を利用すると、便箋や封筒を簡単に作成できます。ここでは、ダビンチ 2.0 の[レター]メニューを使用して便箋と封筒を作成し、友達に手紙を送ります。



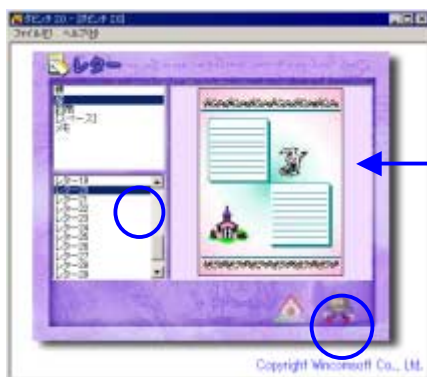
8.1 レターの作成



ダビンチ 2.0 を起動して、ホーム画面の[レター]アイコンをクリックします。次の一覧が表示されます。




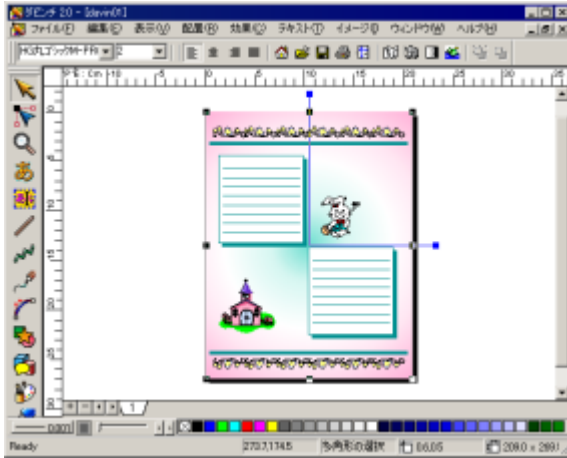
次のようにカテゴリの[縦]を選択し、[レター20]を選択します。



左側の一覧で選択したレターの画像が表示される




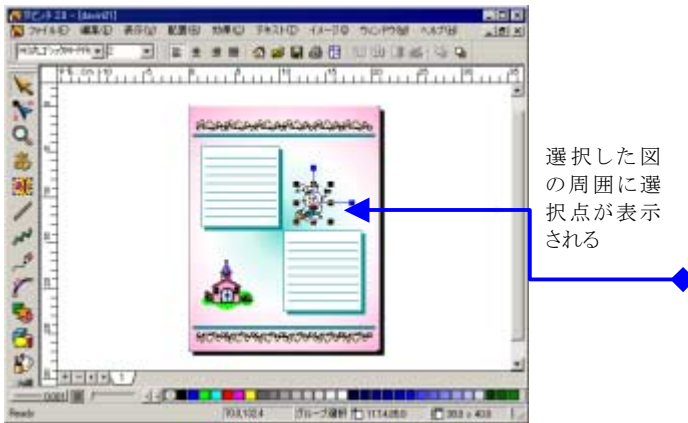
右下の  をクリックすると、次のような作業ウィンドウが表示され、選択したレターが表示されます。



8.2 イメージ ファイルの読み込みと挿入

うさぎと教会の絵の代わりに、写真を入れてみます。

- 1 描画ツール バーの選択アイコン  をクリックし、次にうさぎを選択します。



- 2 キーボードの<Delete> キーを押すか、[編集]メニューの[削除]を選択します。選択したうさぎの絵が消えます。

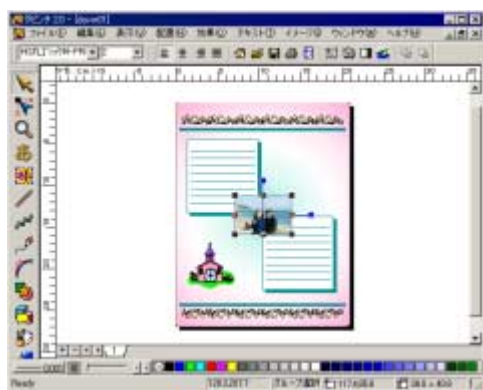
- 3 [ファイル]メニューの[インポート]を選択します。表示された[インポート]ダイアログボックスで、入力するファイルがあるフォルダに移動し、ファイルを選択します。



ダビンチ 2.0 では、BMP、AI、EPS、JPG、PCX、PNG、PSD、TGA、TIF、WMF、GIF の各種外部ファイルを読み込めます。



[開く]をクリックすると、選択したイメージ ファイルがレター上に読み込まれます。



普通の写真をイメージ ファイルにする方法

普通のカメラで撮った写真をイメージ ファイルにするには、スキャナが必要です。スキャナをお持ちなら、写真をスキャンしてイメージ ファイルにできます。ダビンチ 2.0 はスキャン機能に対応しているため、別のスキャナ プログラムを起動しなくてもスキャンできます。

コンピュータにスキャナ ドライバがインストールされていれば、[ファイル]メニューの[スキャン] - [スキャンの開始]を選択して、写真をイメージ ファイルにできます。

スキャナ ドライバとして、必ず 32bit 版の TWAIN32 をインストールする必要があります。

ダビンチ 2.0 でスキャンした写真は、多くのファイル形式 (BMP、JPG、PCX、PNG、PSD、TGA、TIF) で保存できます。

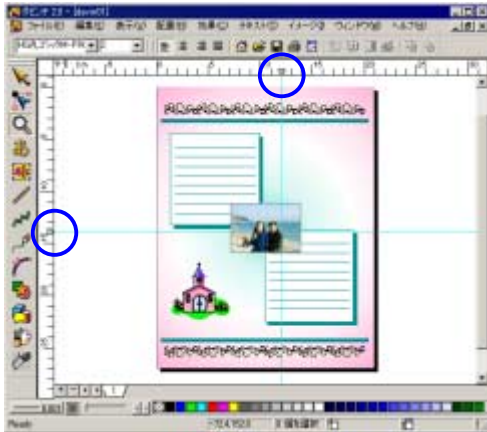
[ファイル] - [スキャン] - [アウトラインの抽出]を使用してイメージからアウトラインを抽出すると、ノードの編集、色の修正など、さまざまな編集が可能になります。



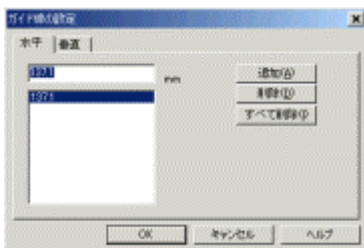
8.3 ガイド線



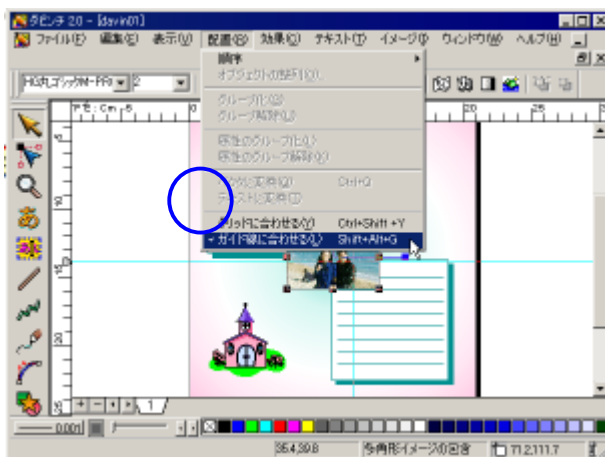
作業ウィンドウの左と上にある目盛線(ルーラー)をマウスの左ボタンでクリックすると、それぞれ横と縦のガイド線が表示されます。



目盛上のガイド線をマウスの右ボタンでクリックすると、設定されたガイド線が消えます。[表示]メニューの[ガイド線の設定]を選択すると、次の図のように[ガイド線の設定]ダイアログ ボックスが表示されます。ガイド線の追加と削除を行うときは、現在設定されているガイド線を表示する便利です。

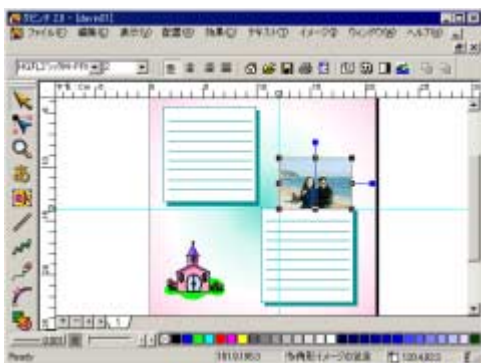


[配置]メニューの[ガイド線に合わせる]をクリックして選択します。項目の前に ✓ が表示されます。



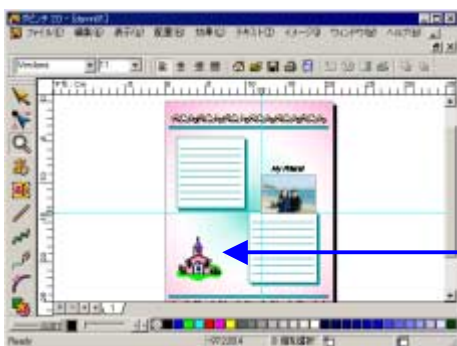
3

絵をクリックして選択し、マウスの左ボタンを押しながらドラッグして、絵をガイド線に合わせて整列します。



4

テキスト入力ツールを使用して「My Friend」と入力し、文字フォントとサイズを調節します。



同じ方法で教会の絵も削除し、別のファイルを入力してもいい

オブジェクトのサイズ、位置、フォント、フォント サイズなどを変更する方法については、このマニュアルの第 3 章を参照してください。

8.4 グリッド

[ガイド線に合わせる]と似た方法で、[配置]メニューの[グリッドに合わせる]をクリックして選択すると、項目の前に ✓ が表示されます。

次にオブジェクトをクリックして選択し、マウスの左ボタンを押しながら移動すると、オブジェクトを作業ウィンドウのグリッドに合わせて整列できます。

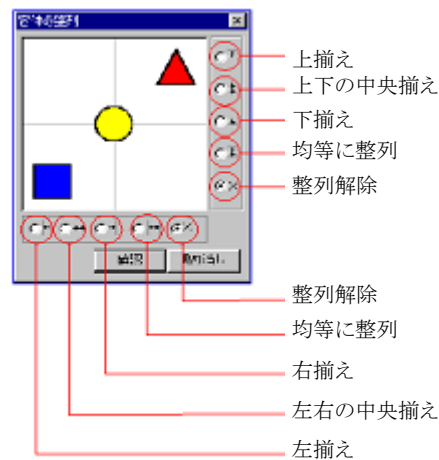
ガイド線とグリッドの初期値は、[ファイル]—[設定]で設定できます。環境設定の詳細については、「2.10 作業環境の設定」の「編集/グリッド」(21ページ)を参照してください。



複数オブジェクトの同時整列

オブジェクトを整列するにはガイド線とグリッドを利用できますが、複数のオブジェクトを同時に整列するときは、オブジェクトの整列機能も利用できます。

1. 整列するオブジェクトをすべて選択します。
2. [配置]メニューの[オブジェクトの整列]を選択すると、次のダイアログ ボックスが表示されます。



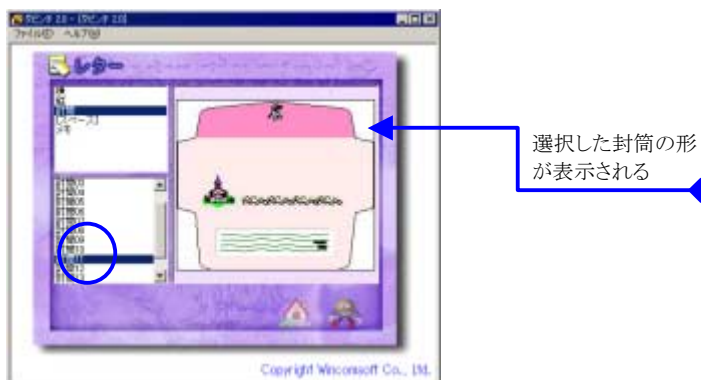
3. 縦横の整列を選択して、[OK]をクリックします。

8.5 封筒の作成

先ほど作成したレターを印刷すると、オリジナルの素敵な便箋になります。今度はそれに合う封筒を作って印刷します。




ダビンチ 2.0 を起動して、ホーム画面で[レター]メニューをクリックします。次の一覧が表示されます。

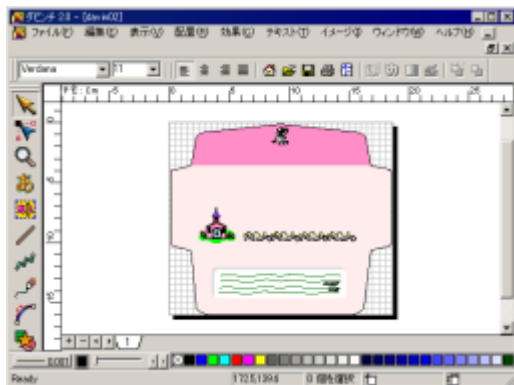




カテゴリで[封筒]を選択し、[封筒 11]をクリックします。

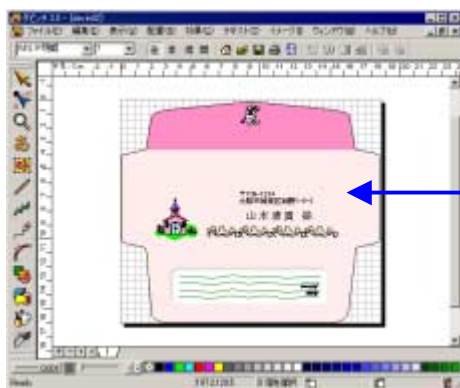
2

封筒を選択して  をクリックします。選択した封筒がダビンチ 2.0 の作業ウィンドウに表示されます。



3

描画ツール バーでテキスト入力ツール  を選択します。封筒に宛先の住所と名前を入力します。



住所を入力
するときは、
< Enter >
キーで改行

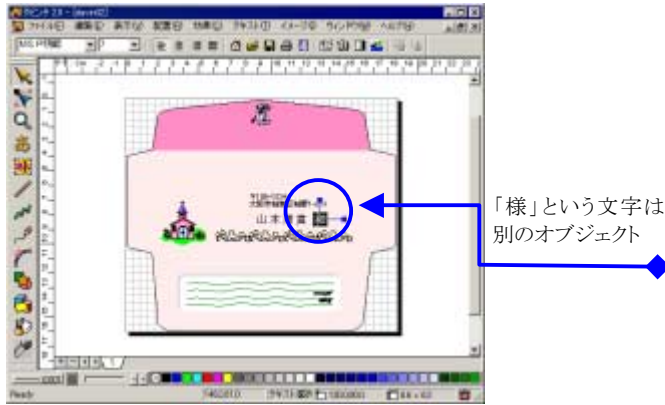
住所を入力するとき、1 列で足りない場合はキーボードの <Enter> キーを押してください。そうすれば次の列に続けて入力できます。文字のフォントやサイズを調整する方法については、第 3 章を参照してください。



特定の文字だけフォントを変更するには

テキスト オブジェクトの文字のフォントやサイズなどの属性は、テキスト オブジェクト全体に対して指定されているため、基本的には、それぞれの文字または単語に異なるフォントやサイズを指定することはできません。

文字または単語ごとに文字フォントやサイズを変えるには、テキスト オブジェクトを選択して [ノードの編集] 機能を利用するか、別のテキスト オブジェクトを新しく作成する必要があります。



同じ方法で送付先の住所も入力します。少し小さな文字にしてみます。



作成した封筒をプリンタで印刷し、鋏できれいに切り取り、折ってのり付けすれば封筒の完成です。



第9章 ポスター

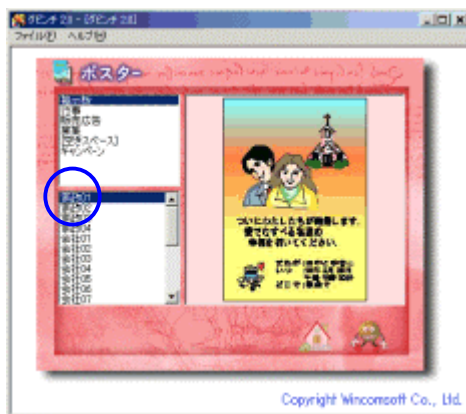
ダビンチ 2.0 に付属するポスターのサンプルを使用すると、簡単にポスターを作成できます。ダビンチ 2.0 に付属するサンプル ポスターを読み込んで、自分達の写真を入れた結婚パーティーのポスターを作成します。



9.1 ポスターのサンプル




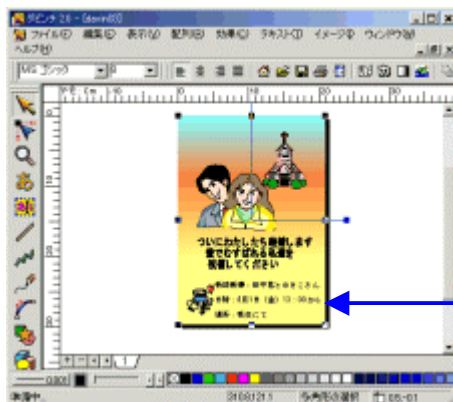
ダビンチ 2.0 のホーム画面で[ポスター]をクリックすると、次のように[ポスター]のサンプルが一覧表示されます。カテゴリ別に各種のポスターが分類されています。



カテゴリの一覧で[掲示板]を選択し、ポスターの一覧で「家庭 01」を選択します。



 をクリックすると、選択したポスターがダビンチ 2.0 の作業ウィンドウに表示されます。



テキスト ボックス
をマウスでダブル
クリックして、結婚
式の日時や場所
を変更する




新郎、新婦の絵をマウスで選択し、[編集]メニューの[削除]をクリックして消去します。次に[ファイル]—[インポート]をクリックし、自分達の写真のファイルを読み込んで、適切なサイズに調節します。



デジタル カメラかスキャナを使用すれば、写真をイメージ ファイル形式で保存できます。




4

描画ツール バーでズーム イン/ズーム アウト ツール  を選択し、インポートしたファイルを画面全体に拡大します。





9.2 イメージの切り抜き

1

描画ツール バーで連続曲線ツール  を選択し、イメージ上で人物と背景の境界線を連続曲線でなぞり、人物だけを線で囲みます。

<Shift> キーを使用すると、直線と曲線の両方を利用できます。連続曲線の描画方法の詳細については、このマニュアルの14ページと50ページを参照してください。

2

この連続曲線は、始点と終点が一致する閉曲線にする必要があります。それには、描画ツール バーでノード選択ツール  をクリックします。マウス ポインタが  に変わったら、連続曲線の始点をマウスの左ボタンでクリックし、キーボードの <Shift> キーを押しながら連続曲線の終点でマウスの左ボタンをクリックします。これにより、2つの点が選択されます。



3

左側から4番目の[ノードの連結]ツールをクリックします。




連続曲線の始点と終点を連結して閉曲線にすると、オブジェクトが白い図形で表示される



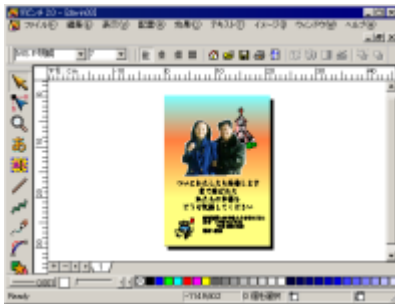
現在の塗りつぶし色は白

4


描画ツールバーで選択ツール  を選択し、写真ファイルと連続曲線オブジェクトを同時に選択します。次に、[イメージ]メニューの[イメージの縁取り] - [内側を残して削除]を実行します。




残ったオブジェクトをポスター内に移動します。これで結婚ポスターが完成しました。



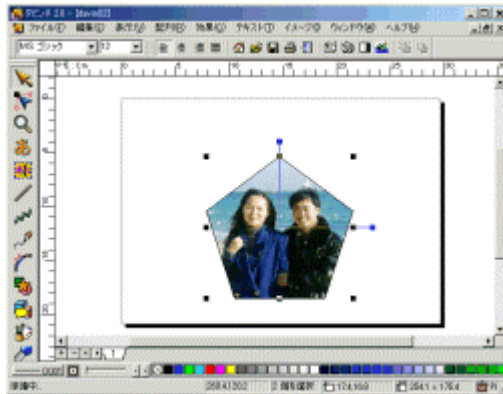
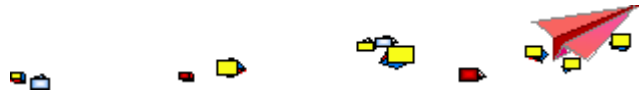
イメージの切り抜き

マウスに慣れていないと連続曲線は描きにくく、説明した方法でイメージを縁取るのが困難かもしれません。その場合は、ツール バーで多角形ツール  を選択して簡単な図形を描き、その図形を利用してイメージの縁取りを行えます。

1. 切り抜くオブジェクトのファイルを読み込みます。
2. ツール バーで多角形ツール  をクリックして選択し、オブジェクト上に多角形を描きます。




3. 描画ツール バーで選択ツールを選択し、2つのオブジェクトを一緒に選択します。
4. [イメージ]メニューの[イメージの縁取り] - [内側を残して削除]を実行します。次のようにイメージを切り抜きました。



[イメージで塗りつぶす]と[イメージの縁取り]の違い

[イメージの縁取り]では、先ほどの説明のようにイメージ オブジェクトを基準にして作業しますが、[イメージで塗りつぶす]では、多角形オブジェクトを基準にして作業します。

1. 描画ツール バーで多角形ツール  をクリックして選択し、任意の多角形を描きます。
2. [効果]メニューの[イメージで塗りつぶす]を選択すると、次の左図のような[イメージで塗りつぶす]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. [ファイル選択]ボタンをクリックして、[インポート]ダイアログ ボックスと同じダイアログ ボックスを表示します。任意のファイルを選択すると、上の右図のようになります。
4. [タイリング]を選択します。これは、選択されたオブジェクトを指定のサイズに合わせて複数並べて表示する機能です。オブジェクトの縦横比を維持する場合は[比率を変えない]を選択します。
5. [透過]を使用すると、選択したオブジェクト中で透過色(透明)にする色を指定できます。



第 10 章 垂れ幕

ダビンチ 2.0 の垂れ幕機能を使用すると、各種の行事で舞台の背後に行事名などを大きく表示する垂れ幕を作成できます。

ダビンチ 2.0 には、さまざまな垂れ幕が付属しており、カテゴリ別に分類されています。いずれかを選択すれば簡単に印刷して使用できます。




ダビンチ 2.0 のホーム画面で[垂れ幕]をクリックすると、次のダイアログ ボックスが表示されます。行事、宗教、商業、販売広告など、各種の垂れ幕やのぼりが用意されています。この中から 1 つを選択します。




たとえば学校でよく使う「体育祭」という垂れ幕を印刷します。それには、[行事]を選択して[行事 03]をクリックします。



右下の  をクリックすると、選択した「体育祭」の垂れ幕ファイルがダビンチ 2.0 の作業ウィンドウに表示されます。



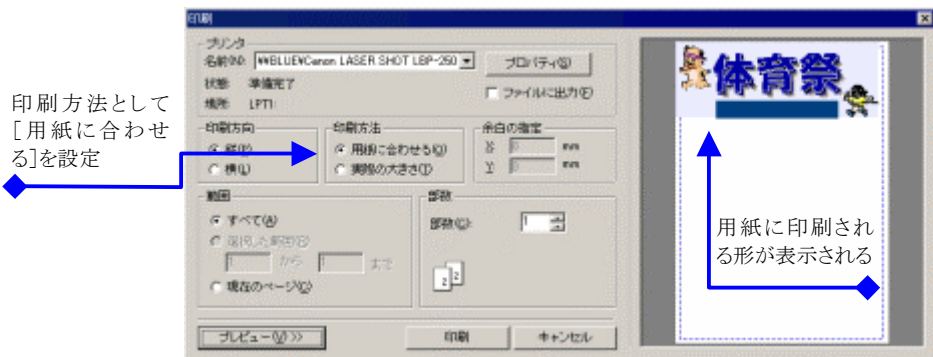
4

ツール ボックスで印刷アイコン  をクリックするか、[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。次の[印刷]ダイアログ ボックスが表示されます。



5

[プレビュー]をクリックします。次のようにダイアログ ボックスが拡張され、印刷用紙にどのように印刷されるかを画面上で確認できます。



この状態で印刷すると、A4 用紙(またはプリンタで設定されている用紙のサイズ)の内側に小さく印刷されます。これでは垂れ幕になりません。ダビンチ 2.0 の分割印刷を使用すると、印刷用紙のサイズにかかわらず、大きな垂れ幕を印刷できます。

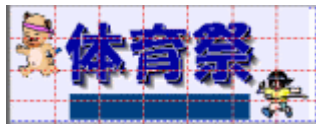
6

[印刷]ダイアログ ボックスで、印刷方法の[実際の大きさ]をクリックしてください。[用紙に合わせる]の前にある 表示が消えて、[実際の大きさ]の前に が表示されます。

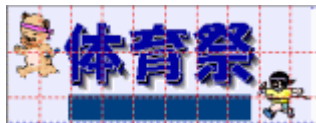


[印刷]ダイアログ ボックスのプレビュー画面には、何枚の用紙に分けてどのように印刷されるかが赤い点線で表示されます。

印刷方向の縦、横を選択すると、用紙を節約できる場合があります。



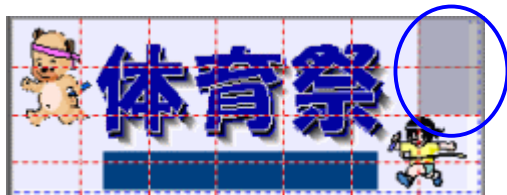
横方向を選択すると 28 枚の用紙で済みます。



縦方向を選択すると 30 枚の用紙が必要です。



分割された領域の中で印刷しなくてもよい部分を1つずつクリックして選択できます。クリックした領域は、次のように灰色になります。



このように灰色になった部分は印刷されません。



プリンタの電源を入れて[印刷]をクリックすると、複数枚の A4 用紙(またはプリンタで設定されている用紙)に垂れ幕が印刷されます。

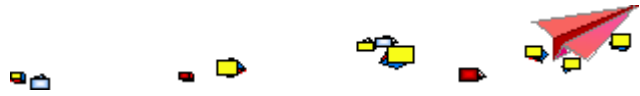


印刷された用紙をつなげると、垂れ幕が完成します。



プリンタの余白指定

[余白の指定]では、プリンタ用紙の周囲の余白を指定できます。ほとんどのプリンタは物理的に用紙の縁には印刷できません(この部分の幅はプリンタによって異なります)。したがって、分割印刷で各用紙に印刷されるオブジェクトのサイズは、プリンタの用紙のサイズより小さくする必要があります。




この値は[余白の指定]で調節できます。プリンタに合わせて余白を指定してください。

一度指定した余白は維持されます。




第 11 章 その他の機能



11.1 その他のメニュー

- 1  ダビンチ 2.0 のホーム画面で、[その他]メニューをマウスで選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



- 2  [その他]メニューを選択すると、ラベル、写真フレーム、塗り絵、掲示板、名簿、折り紙など、11 種類のカテゴリに分類された各種のサンプルがあります。これらを使用してダビンチ 2.0 をさらに活用できます。



- 3  一覧の任意の項目をマウスの左ボタンで選択し、 をクリックします。選択したオブジェクトが画面に表示されます。

1 章から 10 章までの内容をよく覚えれば、読み込んだオブジェクトを自由に変形して使用できます。

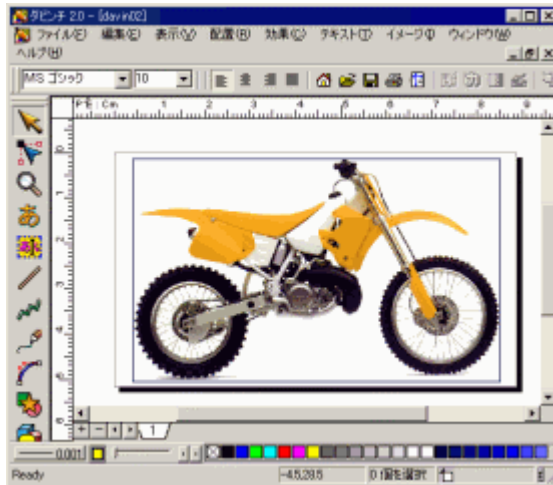
11.2 アウトラインの抽出

スキャンしたイメージやイメージ ファイルを読み込んで、アウトラインの抽出できます。アウトライ

ンを抽出すると、写真などのイメージ ファイルについてもノードの編集や色の編集が行えます。

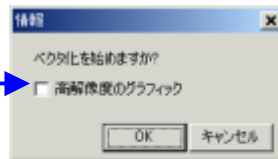


イメージ ファイルを1つ読み込んでみます。ここでは、「c:\¥ProgramFiles¥davinci¥picture¥ホームページ」フォルダの「バイク.jpg」を読み込みます。



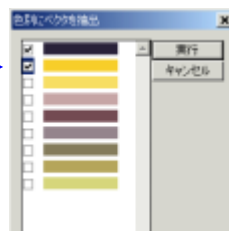
[ファイル]メニューの[スキャン]—[アウトラインの抽出]を選択すると、次のダイアログボックスが表示されます。

細かい画像を表示するとき
は[高解像度のグラフィック]
をマウスでクリック

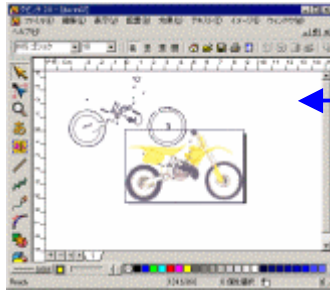


[OK]をクリックしてください。選択した画像ファイルがカラーの場合には次のように色別に[色別にベクタを抽出]ダイアログ ボックスが現れて色別に区分したアウトラインごとに抽出できます。

イメージ ファイルに使用され
た色のリストが表示される。ア
ウトラインを抽出した色をマウ
スでクリックして選択



アウトラインを抽出する色を選択し、[実行]をクリックします。次のように、選択した色のアウトラインが抽出されます。



選択した色のアウトラインが抽出される

ここでは、黒と黄色を選択してアウトラインを抽出します。黄色で抽出されたアウトライン オブジェクトと黒で抽出されたアウトライン オブジェクトは、それぞれ独立したオブジェクトになります。

アウトラインを抽出したら、元のイメージは淡い色に変わります。モノクロ イメージの場合は、グレー トーンに変わります。

抽出された図形を選択するには、その線の部分をクリックする必要があります。図形の内部をクリックしても、選択できません。

11.3 アウトラインの表示

オブジェクトが重なっているために選択しにくい場合は、[表示]メニューの[アウトラインの表示]を選択します。これにより、オブジェクトのアウトラインだけが表示され、オブジェクトを簡単に選択できるようになります。







11.4 ノードの編集

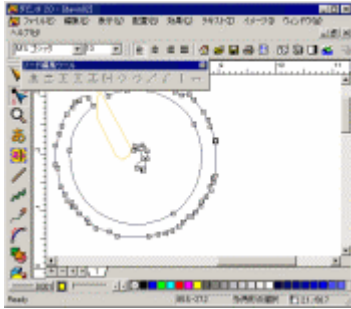
抽出したアウトラインでは、ノード編集ツールを使用してノード(点)を編集できます。

抽出したアウトライン オブジェクトをマウスで選択し、描画ツール バーの[ノードの編集]をクリックすると、次のノード編集ツール バーが表示されます。各ノードをマウスで選択して変更できます。



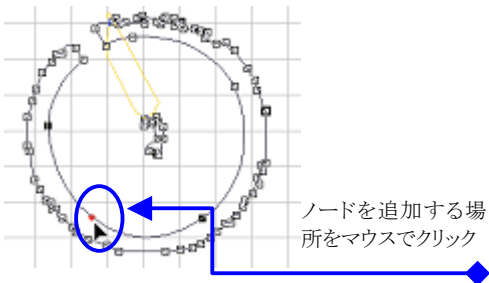
アウトラインとして抽出したバイクの前輪部分を、ノードの編集機能を使用して変更してみます。

- 1  描画ツール バーでズーム イン/ズームアウト ツール  を選択し、バイクの前輪部分に合わせます。マウスの左ボタンを何回かクリックしてズーム インしてください。
- 2  描画ツール バーの選択ツール  を選択し、アウトラインとして抽出した黒のオブジェクトを選択します。
- 3  描画ツール バーのノード編集ツール  を選択します。次のようにアウトライン抽出オブジェクト上に多数のノードが表示され、ノード編集ツール バーが表示されます。

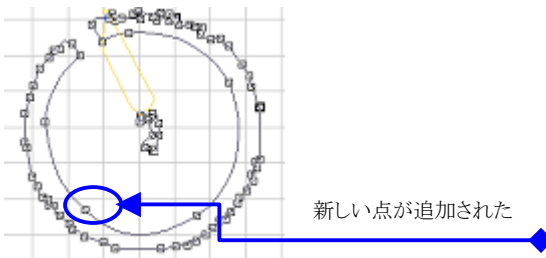


ノードの挿入

2つのノードの間にもう1つのノードを挿入する機能です。



1. ノードを挿入する場所をクリックすると、赤いノードが表示され、左右のノードは黒色に反転します。
2. ノード編集ツールで[ノードの挿入]アイコンをクリックします。



ノードの削除

1つ以上の不要なノードを選択して削除する機能です。

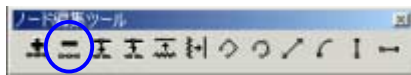
1. 削除するノードをクリックして選択します。選択されたノードは黒色に変わります。



選択した点がすべて黒色になる

複数のノードを一度に選択するには、キーボードの <Shift> キーを押しながらマウスの左ボタンをクリックし、ノードを連続して選択します。

2. ノード編集ツールの[ノードの削除]アイコンをクリックすると、選択したノードがすべて削除されます。



選択した点をすべて消去

ノードの分割

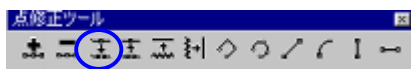
1つのノードを2つに分割する機能です。

1. 分割するノードを1つクリックして選択します。選択したノードは黒色に変わります。



選択した点が黒色に表示されます

2. ノード編集ツールの[ノードの分割]アイコンをクリックすると、選択したノードが2つに分割されます。





分割された2つのノードが近すぎて、本当に分割されているかはっきりしない場合があります。その場合は、2つのノードの一方を選択して移動してみると、明確になります。

ノードの移動

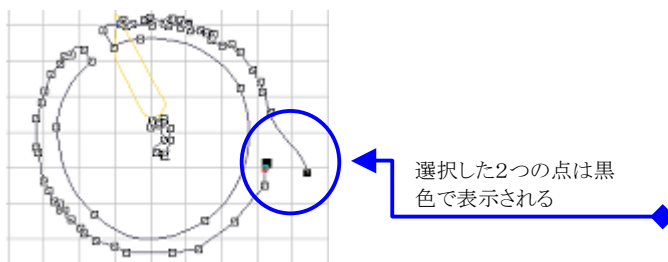
1. 移動するノードをクリックして選択します。選択したノードは黒色で表示されます。
2. マウスの左ボタンを押しながら動かして、選択したノードを任意の位置に移動します。



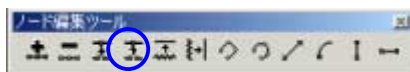
ノードの連結

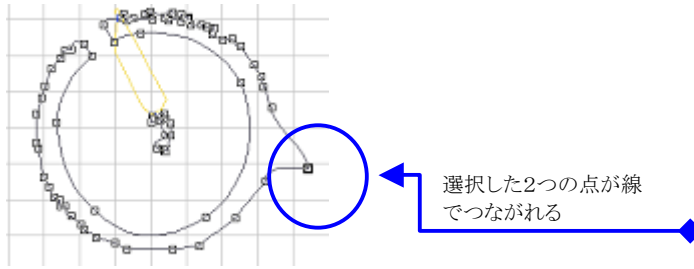
離れている2つのノードを線をつなぎます。先ほど分割した2つのノードをもう一度つなぎましょう。

1. つなぐノード2つをクリックして選択します。ノード1つを選択した後、他のノード1つはキーボードで<Shift>キーを押しながらマウスの左ボタンをクリックすると選択されます。



2. ノード編集ツールバーの[ノードの連結]アイコンをクリックします。2つのノードが連結されます。

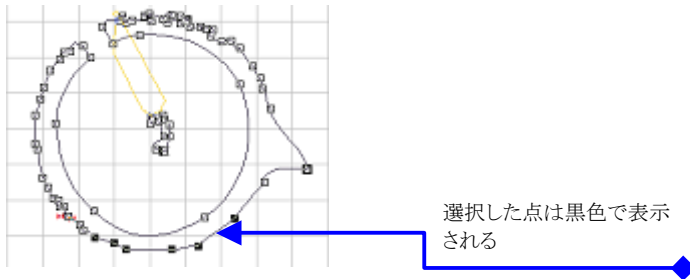




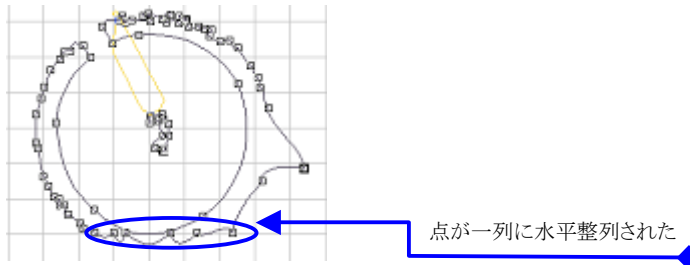
水平整列

選択した多数のノードを水平方向に整列します。

1. 整列するノードを選択します。複数のノードを選択するには、キーボードの <Shift> キーを押しながらマウスの左ボタンをクリックします。



2. ノード編集ツール バーの[水平整列]アイコンをクリックします。各ノードが水平線上に並びます。この場合、ノードが整列するだけで線の属性は変わりません。

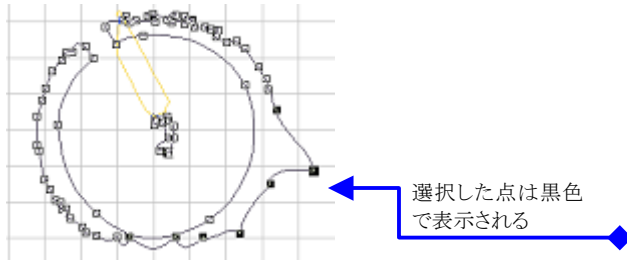


垂直整列の方法は水平整列と同じです。この場合は、垂直線上にノードが整列されます。

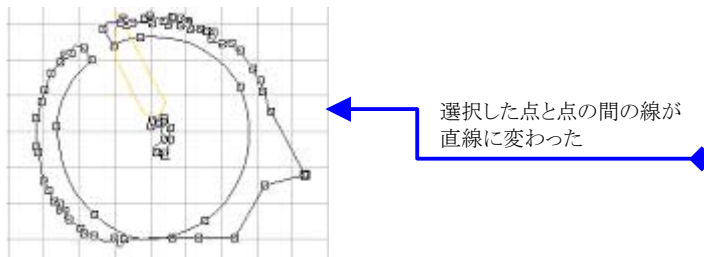
直線化、単一直線化

2つのノード間の曲線を直線に変換します。

1. 直線に変換する曲線部分のノード群をクリックして選択します。



2. ノード編集ツール バーの[直線化]アイコンをクリックすると、曲線部分が直線に変わります。



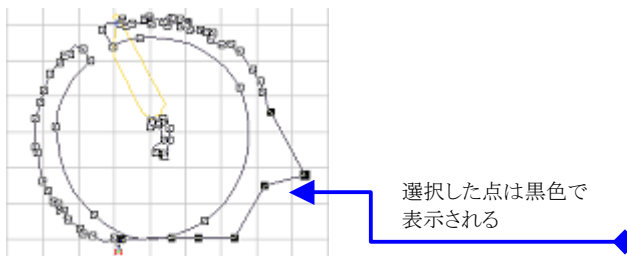
- [単一直線化]アイコンをクリックした場合は、中間のノードがすべて削除され、次の図のように単一の直線が作成されます。



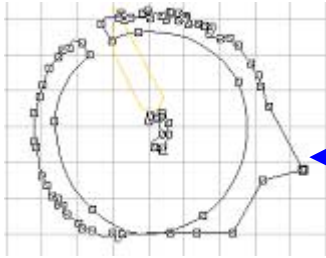
曲線化、単一曲線化

2つのノード間の直線を曲線に変換します。

1. 曲線に変換する直線部分のノード群をクリックして選択します。ここでは、先ほど直線に変換したノードを再び曲線に戻すことにします。



2. ノード編集ツール バーの[曲線化]アイコンをクリックすると、直線属性が曲線属性に変わります。



線の属性が曲線に変わりましたが、屈曲角度が0であるため、直線のようにみえる



直線を曲線に変換

曲線を直線に変換する場合は、曲線属性が失われて直線に変化するので簡単に確認できます。しかし、直線を曲線に変換する場合は、屈曲角度 0 の曲線が作成されるため、線の属性が曲線に変化しても、見かけは直線のままです。

本当に曲線属性になっているかどうかを調べるには、曲線に変わった部分のいずれかのノードをクリックして選択します。

選択したノードは黒色で表示され、線の両端は 2 つの赤いノードで示されます。これで、この線が直線ではなく曲線属性を持っていることがわかります。



赤い点をマウスで移動

赤いノードをマウスで(左ボタンを押しながら)ドラッグすれば、思い通りの曲線を作成できます。

[単一曲線化]アイコンをクリックすると、中間のノードがすべて削除され、単一の直線が作成されます。



直線に見えるが、実際には屈曲角度0の曲線

単一直線化

選択したノードの中間ノードを削除し、単一直線化した後、2 つのノードを水平整列します。つまり、[単一直線化]を実行した後、[水平整列]を実行した場合と同じ効果があります。



単一直線化

選択したノードの中間ノードを削除して単一直線化した後、2 つのノードを垂直整列します。つまり、[単一直線化]を実行した後、[水直整列]を実行した場合と同じ効果があります。

11.5 新しい機能

以下ではダビンチ 2.0 の新機能を紹介します。



[編集]メニューの[オブジェクトの挿入]を選択すると、次の[オブジェクトの挿入]ダイアログ ボックスが表示されます。



[オブジェクトの種類]一覧から OLE サーバーとして使用するプログラムを選択し、[OK]をクリックします。選択した OLE サーバー プログラムが実行されます。

たとえば[WAVE サウンド]を選択すると、次のプログラムが実行されます。ダビンチの文書に挿入する音楽ファイル(wav ファイル)を読み込むか、録音ボタンを押して自分の声を録音してみてください。



読み込んだ OLE サーバー プログラムで作業を完了したら、[ファイル]—[終了して(ダビンチ ファイル)へ復帰]を実行します。OLE サーバー プログラムが終了し、OLE サーバー プログラムで作成した wav ファイルがダビンチ 2.0 のファイル内に格納されます。



OLE クライアント、OLE サーバー

OLE とは、Windows プログラム間でデータ ファイルを交換して共有するための一方式です。

データ ファイルを作成するプログラムを OLE サーバー プログラムと呼び、作成されたデータを受け取って使用するプログラムを OLE クライアント プログラムと呼びます。OLE サーバー プロ



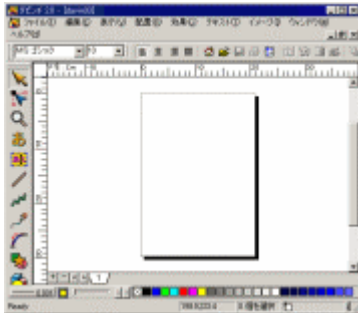
グラムと OLE クライアント プログラムは、互いに有機的に結び付きます。

OLE サーバー プログラムで作成したデータ ファイルを OLE クライアント プログラムで読み込んだ後でデータを修正する必要が生じた場合は、すぐにデータを作成した OLE サーバー プログラムを読み込んで、データを修正できます。

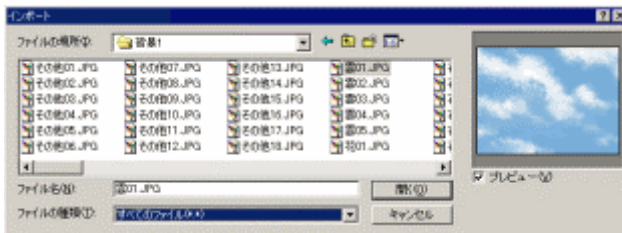
11.6 HTML ファイルで保存



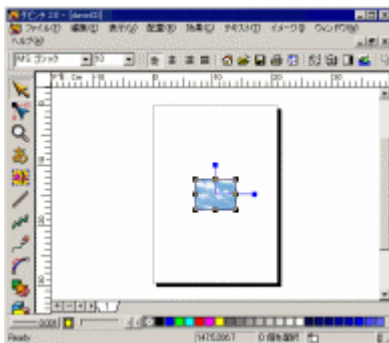
ダビンチ 2.0 のホーム画面で[新規作成]をクリックします。



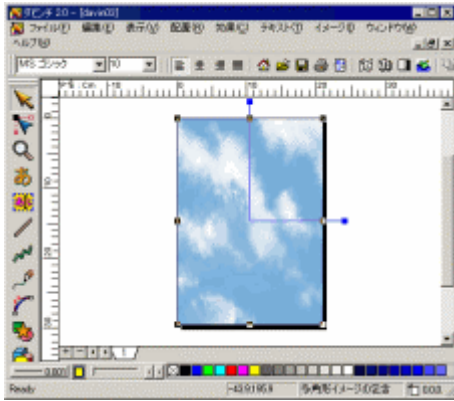
新規の作業ウィンドウが表示されたら、[ファイル]メニューの[インポート]を選択します。
[インポート]ダイアログ ボックスが表示されたら、ホームページの背景画面にするオブジェクトを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



ここでは、「c:\¥Program Files¥davinci¥picture¥背景 1」フォルダの「雲 01.jpg」ファイルを選択します。



イメージ ファイルが画面に表示されたら、任意のサイズまでズーム インして、作業ウィンドウ全体に拡大します。



4

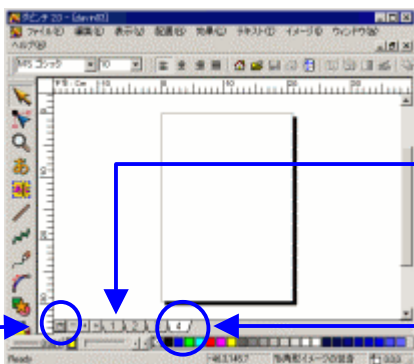
イメージ オブジェクトを選択し、[イメージ]メニューの[効果]－[ぼかし]をクリックします。次のダイアログ ボックスが表示されます。ぼかしの程度を指定して、[適用]をクリックします。



マウスの左ボタンでバーをクリックし、左ボタンを押しながらバーを引き寄せる

5

＋形のページ設定ボタンを続けて 4 回クリックしてください。クリックするたびに新しいページが作成され、作業中のファイルが 5 ページ分の文書になります。



＋をクリックするたびにページが増加

各番号をマウスでクリックしてそのページに移動

白色は現在のページを示す

6

1 ページ目で背景ファイルを選択したときと同じ方法で、2、3、4、5 ページ目についても、それぞれの背景を指定します。

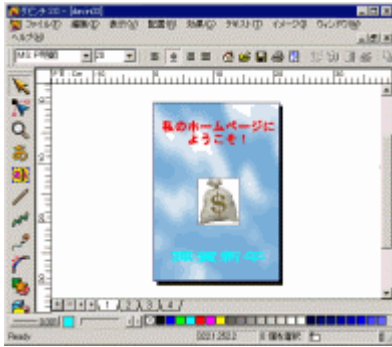
ページ番号をクリックして各ページに移動し、[ファイル]－[インポート]を選択します。[インポート]ダイアログ ボックスが表示されたら、ホームページの背景に使用するファイルを選択して、[開く]をクリックします。

「c:\ProgramFiles\davinci\picture\名刺の背景」フォルダには、背景に適切な多くのイメージがあります。



7

今までに学習した機能を使用して、ホームページを作成してみます。



テキスト オブジェクトを使用して題名とあいさつの言葉を入れ、色を付け、「c:\Program File\davinci\picture\ホームページ」フォルダの「ドル袋.jpg」ファイルを読み込みました。



テキスト オブジェクトを使用して題名を入力します。さらに、「c:\Program File\davinci\picture\ホームページ」フォルダの「飛行機.jpg」と「バイク.jpg」ファイルを読み込んで、各イメージ オブジェクトを回転しました。

8

作成したホームページを HTML ファイルとして保存します。[ファイル]メニューの[エクスポート]を選択すると、次の[エクスポート]ダイアログ ボックスが表示されます。

保存するファイル名を入力し、ファイル形式の下矢印をクリックして、表示されたメニューで HTML ファイル (*.htm) を選択

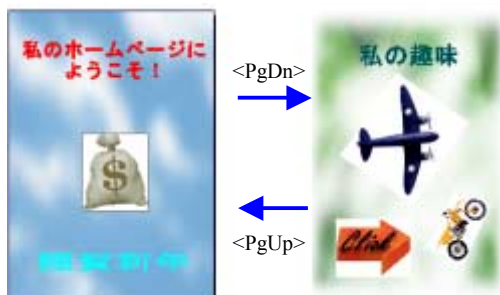


11.7 プレゼンテーション機能

ダビンチ 2.0 で作成したファイルをそのままプレゼンテーションに活用できます。先ほど作成したホームページ ファイルをプレゼンテーションに利用してみます。



プレゼンテーションを実行するには、キーボードの <F8> キーを押します。プレゼンテーションが開始します。



キーボードの <PageDown> キーを押すと次のページに移動し、<PageUp> キーを押すと前のページに移動します。

プレゼンテーションを終了するには、<Esc>キーを押します。

11.8 パレット

[ファイル]メニューの[パレットを開く]と[パレットを保存]により、パレットを使用できます。

パレットとは、画面の下に表示されるカラーバーのパレットのことです。16の基本色は変えられませんが、その他のすべての色は自由に再定義できます。

ユーザー定義の142色をパレットで保存できます。また、保存したパレットファイルを読み込んで、現在のカラーバー構成を変換することもできます。

11.9 α (アルファ)機能

PhotoShopのPSDファイルにAlpha Channelを入れる機能があります。Alpha Channelは、元のイメージに特殊なフィルタを追加したもので、透過ビットマップのような効果を実現します。

この機能を利用すると、既存の透過ビットマップを使用するよりもきれいな効果を得られます。

ダビンチ 2.0 では、Alpha Channel を含めた PSD ファイルを作成することはできませんが、PhotoShop などで作成したそれらのファイルを読み込んで使用することは可能です。





最後に

ダビンチ 2.0 は、ベクタ系のグラフィック アプリケーション ソフトウェアです。使いやすいシンプルなソフトウェアですが、基本的なすべての機能を備え、多くのファイル形式に対応しています。楽しいサンプルもたくさん付属しています。

Windows に付属するペイント(ペイントブラシ)など、多くのグラフィック ソフトウェアは画像をドットの集合として保持するラスタ系ですが、ダビンチは、画像を主に線や面などの部品の集まりとして保持するベクタ系のグラフィック ソフトウェアです。ベクタ系の画像は、アウトラインフォントのように、拡大しても滑らかな品質を失いません。

ダビンチ 2.0 を楽しんでご使用いただけることを願っております。

2001 年 7 月

多摩ソフトウェア有限公司

URL: <http://www.tamasoft.co.jp/davinci/>

E-Mail: davinci@tamasoft.co.jp

索引

3

3D・42
3D/陰影
 文字・42
3D/陰影・17, 42

A

ADD・66
AI・74
Alpha Channel・102
AND・66
AVG・67

B

BMP・74

C

CD-ROMドライブ・v, 1

D

DIVDST・67
DIVSRC・67
DVI・iv

E

EPS・74

G

GIF・74

H

HTML ファイル・99

J

JPG・74

M

MDI・v, 32
MIN・67
MUL・67

O

OLE クライアント・98
OLE サーバー・98
OR・66
OS・v

P

PCX・74
PhotoShop・102
PNG・74
PSD・74, 102

S

SUBDST・67
SUBSRC・67

T

TGA・74
TIF・74

W

wav・98
WAVE サウンド・98
Windows・v
WMF・74

X

XOR・67

あ

アウトライン
 抽出・89
 表示・91



アウトラインの抽出 ・90
 アウトラインフォント ・103
 アクセス キー ・11
 油絵効果 ・66
 アルファ機能 ・102
 アンインストール ・6

い

移動 ・15
 イメージ ・14
 切り抜き ・81, 83
 編集 ・63
 イメージ ツール ・60
 イメージ ファイル ・74
 イメージ ファイル形式 ・81
 イメージで塗りつぶす ・17, 84
 イメージの縁取り ・84
 イメージを内部に保存 ・22
 色 ・19, 64
 作成 ・19
 調節 ・64
 追加 ・20
 色の反転 ・65
 色別にベクタを抽出 ・90
 色変更 ・26
 印刷 ・16, 45, 86
 インストール ・1
 インストール プログラム ・2
 インポート ・58

う

内側を残して削除 ・82, 83

え

エアブラシ ツール ・61
 鉛筆ツール ・60
 エンボス ・65

お

オブジェクト
 移動 ・37
 サイズと形の変更 ・29
 選択 ・35
 複製 ・39
 分離 ・39
 オブジェクトの整列 ・77
 オブジェクトの切断 ・43
 オブジェクトの挿入 ・98

オペレーティング システム ・v

か

カーソル ・3
 カード ・iv, 44
 印刷 ・45
 サンプル ・44
 カード/はがき ・9, 46
 解除 ・39
 回転 ・15, 63
 ガイド線 ・75
 ガイド線に合わせる ・22, 75
 ガイド線の設定 ・75
 拡大 ・15
 カスタム ・4
 型に合わせる ・17, 35
 カラー バー ・17
 カレンダー ・9, 69

き

起動 ・8
 基本色 ・18
 曲線化 ・96
 切り取り ・11, 47

く

グラデーション ・52
 グラデーション スタイル ・53
 繰り返し ・11
 グリッド ・77
 グリッドに合わせる ・22
 グリッド表示 ・22
 クリップアート ・32
 クリップアートの追加 ・30
 クリップボード ・37
 グループ化 ・17, 39
 グループ解除 ・17
 グレー スケール ・65
 グレー トーン ・91

け

傾斜 ・15
 消しゴムツール ・60

こ

合成 ・66

コピー ・ 11
 コントラスト ・ 64
 コンパクト ・ 4
 コンポーネント ・ 4

さ

最近のファイル ・ 33
 最小仕様 ・ v
 サイズ ・ 15
 彩度 ・ 64
 削除 ・ 47
 サンプル リスト ・ 30

し

実際の大きさ ・ 86
 自動保存 ・ 22
 シャープ ・ 66
 自由曲線 ・ 13, 15
 周辺装置 ・ v
 縮小 ・ 15
 純色 ・ 64
 使用環境 ・ v
 ショートカット ・ 11
 ショートカット メニュー ・ 38
 新規作成 ・ 9, 24
 新機能 ・ v

す

推奨仕様 ・ v
 水平整列 ・ 95
 ズーム アウト ・ 24, 34
 ズーム イン ・ 24, 34
 ズーム イン/ズーム アウト ・ 13
 スキャナ ・ 74, 81
 スキャナ ドライバ ・ 74
 ステータス バー ・ 17
 スポイト ツール ・ 62

せ

整列 ・ 77
 設定 ・ 21
 線 ・ 13
 全画面表示 ・ 16
 線種 ・ 20
 選択 ・ 12, 15

そ

属性のグループ化 ・ 39
 属性のグループ解除 ・ 14
 その他 ・ 9, 89
 その他の効果 ・ 41
 その他の多角形 ・ 14

た

タイリング ・ 84
 多角形 ・ 14
 多角形ツール ・ 28
 タスク バー ・ 2
 ダブルクリック ・ 18
 垂れ幕 ・ 9, 85
 単一曲線化 ・ 96
 単一垂直線化 ・ 98
 単一水平線化 ・ 97
 単一直線化 ・ 95

ち

中心の位置 ・ 55
 直線化 ・ 95

つ

ツール バー ・ 16

て

ディレクトリ ・ 4, 5
 データ ファイル
 交換 ・ 98
 テキスト ・ 13
 書式 ・ 48
 入力 ・ 46, 70
 編集 ・ 47
 テキスト オブジェクト ・ 70
 テキスト ボックス ・ 13
 テキスト ボックス ツール ・ 26
 テキスト情報の設定 ・ 48
 テキストの編集 ・ 47
 デジタル カメラ ・ 81
 テンプレート ・ v, 57, 58, 68

と

透過 ・ 84
 透過ビットマップ ・ 102



透明 ・ 63, 84

分割 ・ 14

ぬ

塗り絵 ・ 9
塗りつぶしツール ・ 62

の

ノイズ ・ 65
ノード ・ 91
 移動 ・ 94
 削除 ・ 92
 挿入 ・ 92
 分割 ・ 93
ノードの編集 ・ 13
ノードの連結 ・ 94
のぼり ・ 85

は

背景 ・ 58
はがき ・ 44
パス ・ 30
刃の厚み ・ 22, 43
パノラマ ・ 51, 52
貼り付け ・ 11
パレット ・ 102

ひ

描画ツール バー ・ 12
表記規約 ・ iii
標準 ・ 4
開く ・ 9, 16
便箋 ・ 72

ふ

ファイル ・ 30
ファイルの保存 ・ 30
フィルタ ・ 66
封筒 ・ 72, 77
フェザー ・ 66
フォルダ ・ 5
複数ページ ・ v
複製 ・ 37, 40
縁取り線効果 ・ 43
ブラシ ツール ・ 61
プレゼンテーション ・ v, 102
プロパティのコピー ・ 41

へ

ページ サイズの設定 ・ 21
ページ設定ボタン ・ 20
ベクタ系 ・ 103
ヘルプ ・ 22

ほ

ホーム ・ 16
ホーム画面 ・ 8, 32
ホームページ ・ 101
ぼかし ・ 65, 100
星 ・ 27
ポスター ・ 9, 80
ポスタライズ ・ 66
保存 ・ 16

ま

マウス カーソル ・ 3
マウス ポインタ ・ 3, 14

め

名刺 ・ 9, 57
明度 ・ 64
メディアン ・ 65
メニュー バー ・ 10
メモリ ・ v
目盛線 ・ 75

も

モザイク ・ 65
文字の入力 ・ 24
元に戻す ・ 11, 22, 40
モノクロ イメージ ・ 91

や

矢印の位置 ・ 54

ゆ

ユーザー情報 ・ 3
ユーザー定義機能 ・ 28
ユーザー定義色 ・ 18



よ

用紙のサイズ・21
余白・87

ら

ラベル・9

る

ルーラー・75

れ

レター・9, 72
連結線・13
連続曲線・14, 50, 81

ろ

露光・64